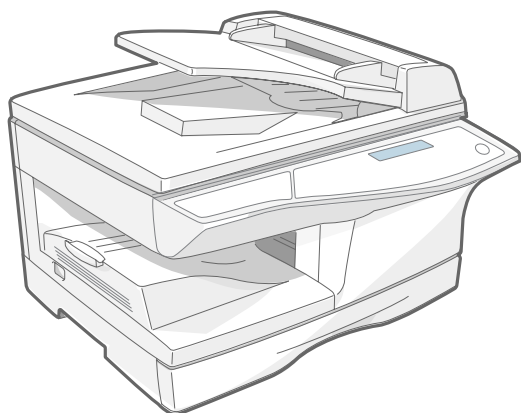
取扱説明書
デジタル複合機
形名 AR-155FG

共通編

ページ

このたびはシャープデジタル複合機AR-155FGをお買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ご使用の前に「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。

この取扱説明書は、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。万一、ご使用中にわからないことや具合の悪いことがおきたとき、きっとお役に立ちます。

このACコードセットは当該製品専用です。

高調波ガイドライン適合品

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

正しい取り扱いをしていただいていても、電波の状況によりラジオやテレビの受信に影響を及ぼすことがあります。
そのようなときは、次の点にご注意ください。
- この製品とラジオ、テレビを十分に離してご使用ください。
- この製品とラジオ、テレビを別のコンセントに接続してください。
- 使用されるケーブルは指定のものをお使いください。

なお、詳しくはお買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご相談ください。

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準に適合しています。

海外では使用できません。
この製品を使用できるのは日本国内のみです。海外では安全規格や、回線のインタフェースの仕様が異なり使用できません。
＜This machine is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.＞

エコロジークラスでいきましょう。シャープ。

デジタル複合機 AR-155FG

この製品は、こんなところがエコロジークラス。

省エネ **環境に配慮した製品で、人やオフィスにやさしく。**

国際エネルギースタープログラムに適合

豊かな地球環境を守るための国際的な省エネルギー制度「国際エネルギースタープログラム」に適合しています。

グリーン購入法基準に適合

グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律）の判断基準に適合しています。

グリーン購入法
適合商品

環境に配慮した素材を使用

基板接合はんだの無鉛化（グリーン購入ネットワークの無鉛化割合ランクA適合）を実現しました。さらに、鉛フリーのワイヤーハーネス（電線）とACコードを採用し、外装キャビネットにはノンハロゲン樹脂を使用しました。

● **お願い** ●

- この取扱説明書は内容について十分注意し作成しておりますが、万一ご使用中にご不審な点・お気付きのことがありましたら、もよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口（82ページ）までご連絡ください。
- お客様または第三者がこの製品および別売品の使用誤りや、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- この取扱説明書では、画面の説明や操作手順はWindows XP環境でお使いになる場合を主体に説明しています。Windowsのバージョンにより表示される画面が異なることがあります。
- 本書ではこの製品をご使用いただくにあたり、導入者および利用者がお使いのMicrosoft Windows製品について実用的な知識を持っていることを想定して説明しています。

ご注意

- この取扱説明書の内容の全部または一部を、当社に無断で転載、あるいは複製することはお断りします。
- この取扱説明書の内容は、改良のため予告なく変更することがあります。

取扱説明書に記載している操作画面、表示されるメッセージなどは改良変更などにより実際の表示と一部異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

USB2.0 対応

USB2.0対応（ハイスピードモード）で使用する場合は、必ず「USB2.0（ハイスピードモード）の動作環境について」（50ページ）を確認し、動作環境と本機の設定を適切な状態にしてから接続してください。

商標について

- Sharpdeskはシャープ株式会社の登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows® 98、Windows® Me、Windows NT® 4.0、Windows® 2000、Windows® XP および Internet Explorer®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBM、PC/ATは 米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Acrobat® Reader Copyright© 1987-2002 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. Adobe、Adobeロゴ、Adobe Acrobat、およびAdobe Acrobat ロゴは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- その他、取扱説明書の中で記載されている会社名や商品名は各社の商標または登録商標です。

印刷・コピー禁止事項

紙幣、有価証券などを本機で印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。
関連法律
刑法 第148条、第149条、第162条
通貨及証券模造取締法 第1条、第2条
等

もくじ

8 こんなときは

9 周辺装置・消耗品

10 知っておいていただきたいこと

安全にお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためのいろいろな絵表示をしています。その表示を無視し誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
⚠注意	人がけがをしたり、財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

絵表示の意味

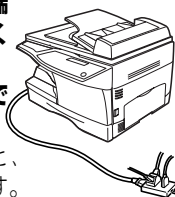
△記号は、気をつける必要があることを表しています。
図の中には、具体的な注意内容（左図の場合は高温注意）が描かれています。

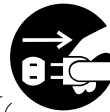
⊘記号は、してはいけないことを表しています。
図の中や近くに、具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、しなければならないことを表しています。
図の中には、具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

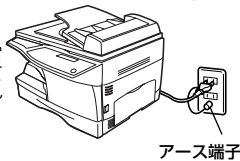
警告

電源は 15A 以上、100V の専用コンセント（アース端子付）以外で使用しないでください。
また、タコ足配線はしないでください。
それ以外の電源で使用すると、火災・感電の原因となります。

万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常があるときは、使用しないでください。
異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
すぐに電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口へご連絡ください。

機器のキャビネットははずさないでください。
内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。
また、重い物をのせたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると、電源コードを傷め、火災・感電の原因となります。

機器の上に水などの入った容器、または内部に入り込むおそれのある金属物を置かないでください。
こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

⚠ 警告

アース線（電源コードとともに出ている黄／緑色のコード）をアース端子（アース工事されているもの）に必ず最初に接続してください。
アース線の先端部に保護用スリーブが付いている場合は、このスリーブをはずしてから接続してください。
アース線が接続されておらず、万一漏電した場合は火災・感電の原因となります。
アース接続は必ず、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。
また、アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。
なお、アース工事は、お買いあげの販売店または電気工事店にご依頼ください。
（アース工事は有料です。）

機器の近くで可燃性スプレーを使用しないでください。
機器内部には高温になる部分があり火災のおそれがあります。

雷がなりはじめたら、落雷による感電・火災の防止のため、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

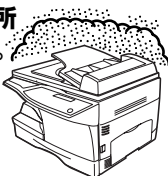
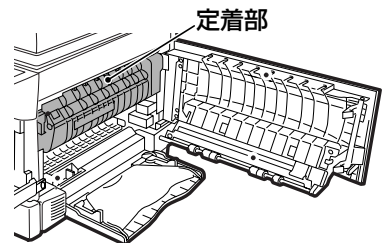
万一、金属片や水などが機器の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
そしてお買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

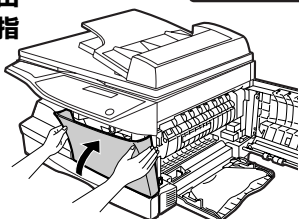
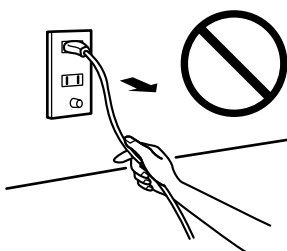
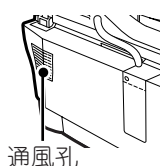
濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

機器を改造しないでください。
火災・感電の原因となります。

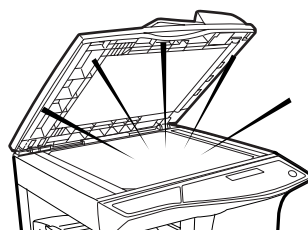
⚠ 注意

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。
また、製品の重さに十分耐える場所に設置してください。
落ちたり、倒れたりして、ケガの原因となります。

湿気やホコリの多い場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

定着部は高温になっています。
紙づまりの処置の際は、定着部に触れないでください。やけどをしないよう十分に注意してください。

⚠注意

用紙の補給や紙づまりの処置、お手入れのときなど、前カバーや側面カバーを閉じるときやトレイを出し入れするときは、指をはさまないようにしてください。

電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っぱらないでください。
電源コードを引っぱると、コードが芯線の露出、断線などで傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

本機の通風孔をふさがないでください。また、本機の通風孔をふさぐ場所には設置しないでください。
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

トナーまたは、トナーの入った容器（現像カートリッジ）は子供の手の届く所へは保管しないでください。

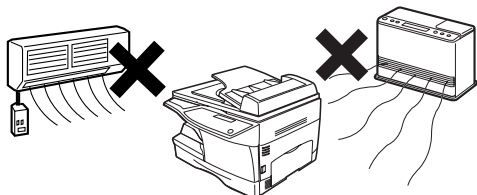
トナーまたは、トナーの入った容器（現像カートリッジ）を火中に投じないでください。
トナー粉がはねて、やけどの原因となることがあります。

光源を直視しないでください。
目を痛めるおそれがあります。

長期間機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

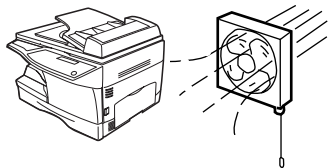
機器を移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。（アース線は電源プラグをコンセントから抜いたうえ、最後にはずしてください。）
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

設置場所について

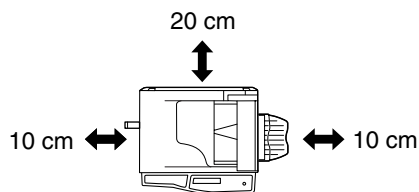
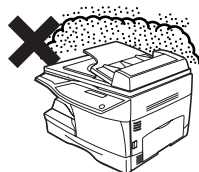
本機の性能は、設置場所の環境条件により影響を受けます。次のような場所には設置しないでください。

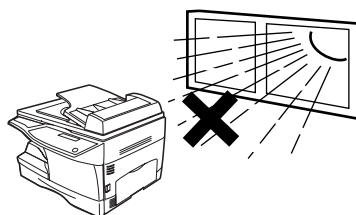
● 高温・高湿・低温・低湿の場所（ヒーター、加湿器、クーラーなどの近く）

用紙が湿ったり、機器内部に露が発生し、紙づまりや出力の汚れの原因となります。
（使用環境：温度15℃～30℃、湿度20%～85%）
なお、超音波式の加湿器には加湿器用純水器をご使用ください。
水道水等をそのまま給水するとミネラル成分や不純物も噴出されるため、機器内部に汚れが付着し、出力の汚れの原因となります。

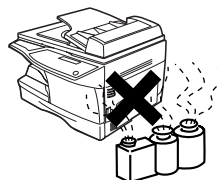
● 通気性の悪い場所

出力中、機器内部でオゾンが発生します。その量は人体に悪影響をおよぼさないレベルですが、大量にコピーする場合には臭気が気になることがありますので、窓や換気扇のある部屋に設置し、ときどき換気してください。

※ 窓のそばに設置される場合は直射日光の当たらない場所をお選びください。

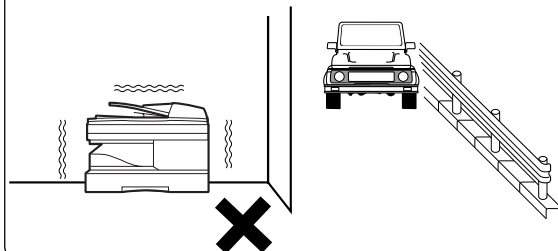
● 壁に近い場所

機器の周辺は、ゆとりをもって操作のできるスペースを取ってください。通風のためにも必要です。（壁などから下図の寸法程度離して設置してください。）

● ホコリの多い場所

機器内部にホコリが入ると、出力の汚れや故障の原因となります。

● 直射日光の当たる場所

プラスチック部品が変形したり、出力の汚れの原因となります。

● アンモニアガスの充満している場所

ジアゾコピーなどのそばに置くと、出力の汚れの原因となることがあります。

● 振動の多い場所

故障の原因となります。

機器を移動するときは、必ずお二人で機器の両側面にある移動用取っ手を両手でしっかり持って運んでください。

メモ

- 本機はコンセントの近くに設置し、電源プラグは抜き差ししやすい場所に差し込んでください。
- 本機の電源プラグを照明器具と共通回路のコンセントに差し込んでご使用になると、ランプのチラツキが生じる場合があります。本機はランプとつながっていない専用のコンセントに差し込める場所に設置してご使用ください。

取扱説明書の種類について

本機は最小限のオフィス空間で最大限の作業効率を引き出すことができるようにデザインされています。本機の機能を最大限に発揮するためにも、取扱説明書をよくお読みのうえ、お使いください。
また、使用しているコンピュータの取扱説明書もあわせてお読みください。
ご使用の前に、「安全にお使いいただくために」（4ページ）を必ずお読みください。

共通編取扱説明書（本書）
この製品についての説明や、本機をコピーとしてお使いいただく方法、本機をお手持ちのコンピュータから使用するために必要なソフトウェアのインストール方法やプリンタ／スキャナの初期設定の方法について記載しています。

ファクス編取扱説明書
本機をファクスとしてお使いいただく方法を説明しています。

オンラインマニュアル（付属のCD-ROMに収録）
本機をプリンタ／スキャナとしてお使いいただく方法について説明しています。

取扱説明書の表記について

この取扱説明書は以下のアイコンを使用しています。

⚠警告	特に気をつけていただきたいことや、無視すると死亡事故や重傷を負うおそれがある内容について記述しています。
⚠注意	けがをする危険がある内容について記述しています。
ご注意	本機を傷つけたり、故障させる危険がある内容について記述しています。
メモ	本機を使用するときに知っておいてもらいたい内容について記述しています。

おもな特長

快速レーザーコピー

ファーストコピータイム9.6秒※1（300dpi※2時）を実現しています。
毎分最大15枚のコピーができ、スピーディーな作業を行うことができます。

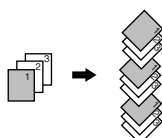
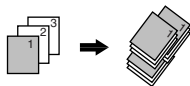
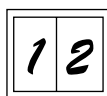
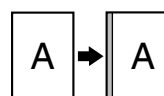
※1 電源を投入し、予熱ランプが消灯直後に、原稿台（ガラス面）を使用してコピーをスタートした場合を測定（A4、本機の1段目トレイから給紙）。電源電圧、室温などの動作環境や本機の使用状態によって変動することがあります。

※2 dpiは解像度の単位で「Dot Per Inch」の略です。解像度とは、印刷の画像や取り込みで、画像のきめの細かさを表す割合を示す数値です。

デジタル高画質

- 600dpiの高画質のコピーができます。
- 自動濃度調整のほかに、文字だけの原稿をコピーする「文字モード」、写真をコピーする「写真モード」の2つのモードが選択でき、それぞれ5段階の濃度調節ができます。
- 写真モードでは、白黒写真やカラー写真など原稿の微妙な中間調に対しても、より鮮明にコピーできます。

充実したコピー機能

- ズーム機能の採用により、25%～400%まで1%ごとに倍率を選択できます。（両面原稿自動送り装置を使う場合は50%～200%になります。）
- 原稿を1回読み取るだけで最大99枚の連続コピーができます。
- プリントされた用紙を1部ずつずらして排紙できます。（オフセット機能）
- 複数枚の連続した原稿を1部ずつ仕分けして排紙できます。（ソートコピー）
- とじしろコピー、2in1コピー、自動両面コピーなど便利な機能が利用できます。

ソートコピー　オフセット機能　2in1コピー　とじしろコピー

1スキャンマルチコピー機能

原稿を1回読み取るだけで最高99枚まで連続コピーできます。同じ原稿に対して指定した枚数分だけスキャンを繰り返す従来方式に比べ、コピー時の動作音を抑えることができ、同じ原稿を大量にコピーしたいときに便利な機能です。

ファクス機能

- 普通紙対応のスーパー G3レーザーファクス機能を搭載しています。（取扱説明書（ファクス編）を参照してください。）

レーザープリンタ機能／カラースキャナ機能

- 本機ではUSB2.0 インタフェースとパラレルインタフェースを標準で装備しています。これらのインタフェースに接続して、本機をプリンタやスキャナとして使用することができます。
- プリンタやスキャナを使用する前に必ず「ソフトウェアのインストール」（34 ページ）をお読みになり、プリンタドライバやスキャナドライバをインストールしてください。
- スキャナ機能はWindows 98/Me/2000/XPをお使いで、本機をUSBインタフェースで接続している場合に使用できます。Windows NT 4.0でお使いの場合や本機をパラレルインタフェースで接続している場合はスキャナ機能は使用できません。

ネットワーク対応（オプション）

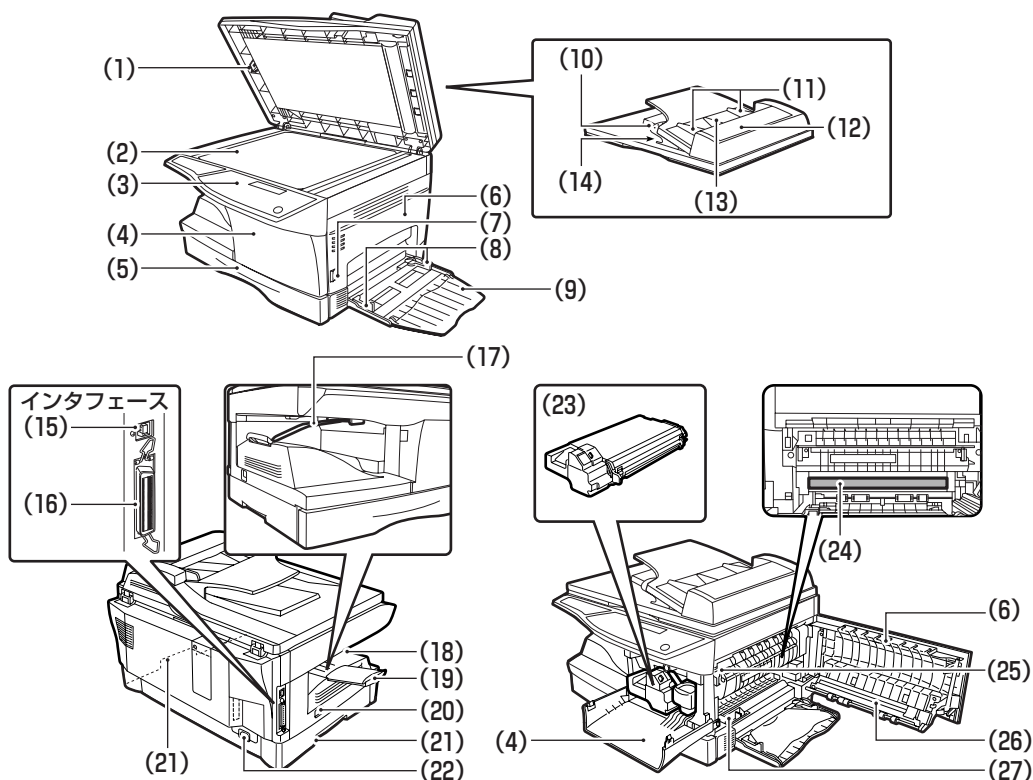
- 別売品のネットワーク拡張キットを装着することにより、ネットワークプリンタ及びネットワークスキャナとして使用することができます。

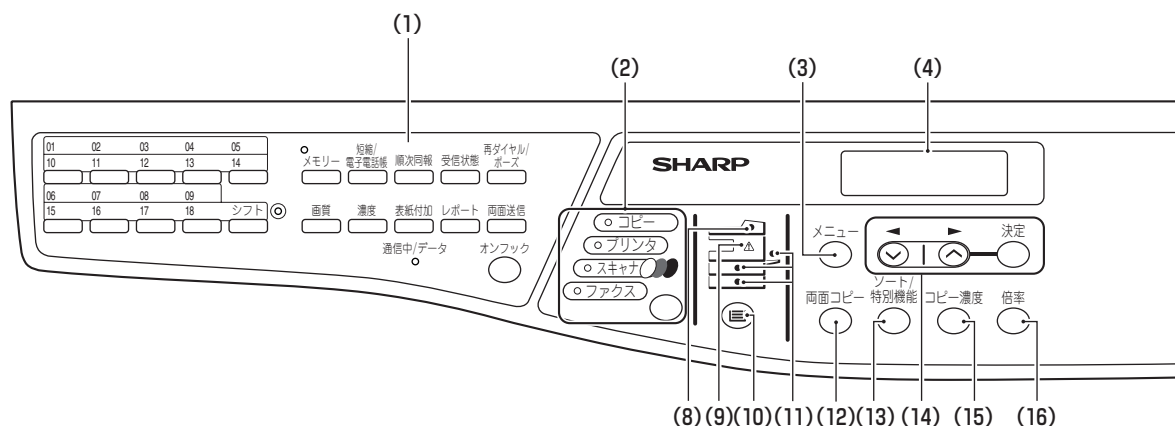
環境にも人にもやさしい設計

- 省エネルギー機能搭載により、消費電力を抑えます。
- 多くの人が使いやすいように操作パネルの高さやキーの形状などを考慮したユニバーサルデザインを取り入れています。

1 お使いになる前に

ここでは、本機をお使いいただく前の基本的な知識を説明しています。お使いになる前に必ずお読みください。

各部のなまえとはたらき

(1) ガラスクリーナー
(2) 原稿台（ガラス面）
(3) 操作パネル
(4) 前カバー
(5) トレイ
(6) 側面カバー
(7) 側面カバー開閉ボタン
(8) 手差しガイド
(9) 手差しトレイ
(10) 原稿反転トレイ
(11) 原稿ガイド
(12) 原稿給紙部カバー
(13) 原稿セット台
(14) 原稿出紙部
(15) USB コネクター
(16) パラレルコネクター
(17) ペーパーホルダーアーム
(18) 排紙トレイ
(19) 排紙サポート
(20) 電源スイッチ
(21) 移動用取っ手
(22) 電源コネクター
(23) 現像カートリッジ
(24) 感光体ドラム
(25) 定着部解放レバー
(26) 転写チャージャー
(27) チャージャークリーナー

操作パネル

(1) **ファクス機能用キー群**
ファクス機能で使用します。詳しくは取扱説明書（ファクス編）を参照してください。

(2) **[モード選択] キー／ランプ**
各機能の切り替えに使用します。選択したモードのランプが点灯します。

(3) **[メニュー] キー**
コピーする用紙サイズの選択、ユーザー設定、総使用枚数の表示を行うときに押します。

(4) **ディスプレイ**
機能設定やユーザープログラムのメニューを表示したり、本機の状態を表示します。

(5) **数字キー**
コピー枚数の設定など各種設定の数値入力に使用します。
また、機能設定メニューを選択する際にも使用します。

(6) **[クリア] キー（C）**
設定した枚数を消去したり、連続コピーを中止したりします。また、ディスプレイに設定項目が表示されているときは1つ前の表示に戻すときに使用します。

(7) **予熱ランプ**
消費電力を抑える省エネルギー機能がはたらくと、ランプが点灯します。

(8) **原稿送りランプ**
両面原稿自動送り装置に原稿がセットされたときに点灯します。

(9) **エラーランプ**
紙づまりや他のエラーが発生した場合に点灯または点滅します。

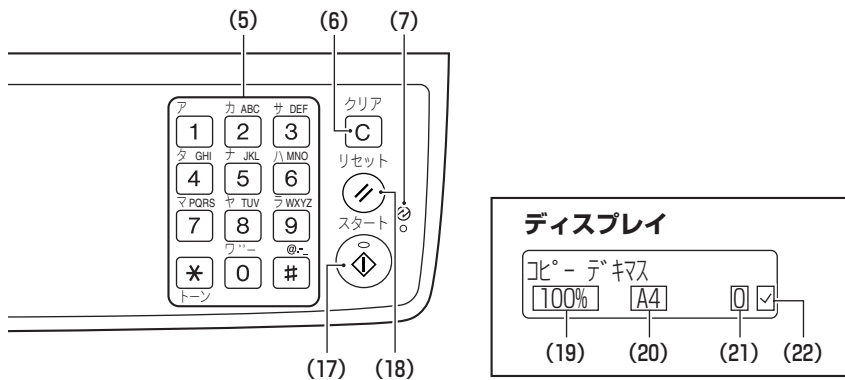
(10) **[トレイ選択] キー（≡）**
コピーしたい用紙が入っているトレイを選択するときに押します。

(11) **トレイ位置ランプ**
選択されているトレイを表示します。プリント中に用紙がなくなったときや、トレイが正しくセットされていないときは、このランプが点滅します。

(12) **[両面コピー] キー**
両面コピーのモードを選択します。

(13) **[ソート / 特別機能] キー**
ソート機能、2in1 コピー機能、とじしろ機能を選択するときに押します。

(14) **[◄] キー（∨）、[►] キー（∧）、[決定] キー**
［◄］キー（∨）または［►］キー（∧）を押してディスプレイに表示されたメニューや設定項目を選択します。［ 決定 ］キーを押すと選択されます。

(15) **[コピー濃度] キー**
自動濃度調整から写真モードまたはテキストモードに切り替える場合に使用します。

(16) [倍率] キー
拡大・縮小コピーをとりたいとき、拡大・縮小倍率を選択します。
固定倍率を選択するときは、[倍率] キーを押して目的の倍率を選択します。固定倍率以外の倍率を指定するときは、[倍率] キーを押して目的の倍率に近い固定倍率を選択し、[◄] キー（ ）または [►] キー（ ）を押すと1%きざみに拡大・縮小倍率を設定できます。

(17) [スタート] キー（ ）／ランプ
このキーのランプが点灯しているとき、コピーやスキャンができる状態です。キーを押すとコピーが始まります。
また、オートパワーシャットオフモードから復帰するときにこのキーを押します。

(18) [リセット] キー（ ）
設定されているすべての機能やディスプレイの表示を標準状態に戻すときに押します。

(19) 拡大・縮小倍率が表示されます。

(20) 選択した用紙サイズが表示されます。

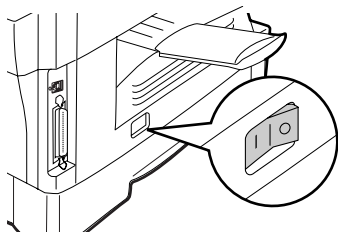
(21) 数字キーで入力したコピー枚数が表示されます。

(22) コピー濃度を変更したときや、両面コピー機能、ソート機能、2in1 機能、とじしろ機能を選択したときにチェックマーク“✓”が表示されます。

電源を“入れる”・“切る”

電源を入れるとき、または切るときは、本機左側面にある電源スイッチを使います。

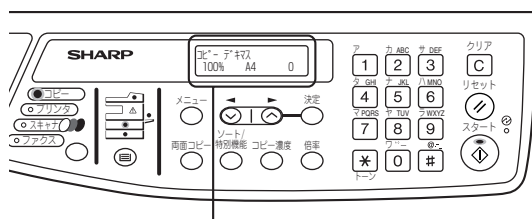
電源を“入れる”

電源スイッチを“入”側にする

スタートランプが点灯し、標準状態を表すメッセージがディスプレイに表示され、コピー可能状態になります。標準状態については、次項の「標準状態について」を参照してください。

電源スイッチを入れたあとは、コピー枚数を設定して[スタート]キー（◇）を押すとコピーが自動的に開始されます。

ご注意	電源は15A以上、100Vの専用コンセント（アース端子付）以外で使用しないでください。また、延長コードやタコ足配線はしないでください。

標準状態について

電源を入れたときや[リセット]キー（⊘）を押したとき、オートクリアが動作したときは本機のコピー設定はあらかじめ設定されている標準状態の設定になります。標準状態に戻ったときは、前に設定していた機能はすべて解除されます。「オートクリア」機能は、ユーザープログラムで設定時間を変更することができます。（55ページ）

コピーモードの場合、コピーモードの標準画面が表示されます。

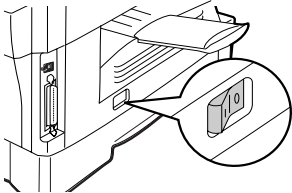
コピー倍率：100%、**濃度設定：**自動
コピー枚数設定：0、**コピーの特別機能：**すべて解除、**トレイ：**トレイ1（1段目のトレイ）

原稿読み取り部（スキャンヘッド）について

本機がコピーやスキャンできる状態のとき（スタートランプが点灯しているとき）、原稿読み取り部は常に点灯しています。
また、本機はコピー品質を維持するために原稿読み取り部を定期的に調整します。このとき原稿読み取り部が自動的に移動しますが、故障ではありません。

電源を“切る”

 ファクス機能をお使いの場合は、電源スイッチはいつも“入”側の状態にしてください。

動作中ではないことを確認し、電源スイッチを“切”側にする

動作中に電源スイッチを切ると、紙づまりなどが発生する場合があります。また、コピー中のジョブはキャンセルされます。
長期間、本機を使用しない場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源を切るときは本機が動作中でないことを確認してください。次の状態のときは、本機は動作していません。
- スタートランプが点灯している。（標準状態）
- 予熱ランプが点灯している。（予熱モードまたはオートパワーシャットオフモード）

省エネルギー機能

本製品は、お客さまの電力消費コストを節減するとともに、環境保全の観点から天然資源のむだづかいや環境汚染を減らすための工夫として、次のような2つの省エネルギー機能を備えています。

予熱モード

電源をいれたままの状態で何も操作せずに設定された時間が経過すると、自動的に低消費電力状態にする機能です。予熱ランプが点灯します。操作パネルの入力、原稿のセットなどの操作、また、プリントデータやファクスデータの受信によって自動的に解除されます。

オートパワーシャットオフ

電源をいれたままの状態で何も操作せずに設定された時間が経過すると、自動的に予熱モード状態よりもさらに低消費電力状態にする機能です。予熱ランプが点灯し、オートパワーシャットオフモードであることを示すメッセージが表示されます。解除するためには[スタート]キー（）を押してください。また、プリントデータやファクスデータの受信、コンピュータからのスキャンによって自動的に解除されます。解除されるまで[スタート]キー（）以外の操作パネルの入力はできません。

メモ 予熱モード、オートパワーシャットオフが動作するまでの設定時間はユーザープログラムで変更することができます。（55ページ）

2 用紙を補給する

トレイの用紙がなくなると、トレイ位置ランプが点滅します。用紙を補給してください。（選択したトレイが正しく閉じられていない場合もトレイ位置ランプが点滅します。）

使用できる用紙

各トレイで使用できる用紙の種類とサイズの仕様は次のとおりです。

トレイ	用紙の種類	用紙サイズ	用紙の質量	補給できる枚数
トレイ	標準紙 再生紙	A5※1、B5※1、A4、5.5"x8.5"※1、8.5"x11"、8.5"x13"※1、8.5"x14"	56g/m^2～80g/m^2	250枚※2 （指示線以下）
手差しトレイ※3	標準紙 再生紙	A6 ～ A4、5.5"x8.5"、8.5"x11"、8.5"x13"、8.5"x14"	56g/m^2～80g/m^2	50枚※2
	厚紙		52g/m^2～128g/m^2 ※5	これらの用紙は1枚ずつ手差しトレイにセットしてください。
	OHPフィルム／ラベル用紙			
	封筒※4	長形3号（120mmx235mm）		
	ハガキ用紙	100mmx148mm		

※1 A5、B5、5.5"x8.5"、8.5"x13"サイズの用紙は、ファクス受信データのプリントに使用できません。
※2 用紙の質量によってセットできる用紙の枚数は異なります。
※3 手差しトレイにセットした用紙にファクス受信データをプリントすることはできません。
※4 ご使用に際しては、「封筒について」（18ページ）を参照してください。
※5 A4サイズ以上の用紙を使用するときは、105g/m^2以下の用紙を使用してください。

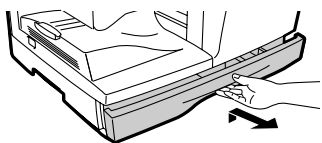
特殊紙について

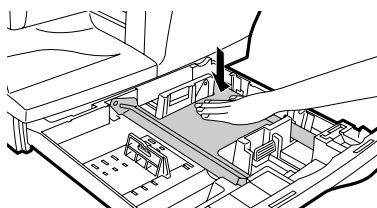
特殊紙を使用するときは以下の点に注意して使用してください。

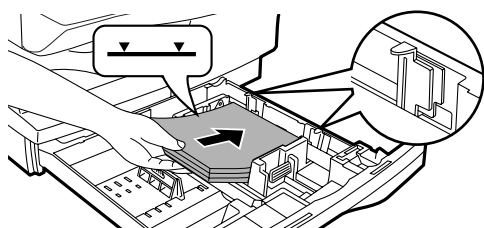
- OHP フィルムやラベル用紙はシャープ推奨紙をご使用ください。推奨紙以外の用紙をご使用になると、紙づまりやコピー汚れの原因となります。シャープ推奨紙以外の用紙をお使いになる場合は、用紙を1枚ずつ手差しトレイにセットしてください。（連続コピーやプリントは行わないでください。）
- 裏写り防止用の粉が付着した絵ハガキは使用できません。
- 一般に市販されている特殊紙にはさまざまな種類があり、なかにはこの製品で使用できないものもあります。ご使用になる際は、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口へお問い合わせください。（82ページ）
- 推奨紙以外の用紙を使用する場合は、前もって正しくコピーできるか確認してください。

トレイへの用紙補給

メモ　用紙にやぶれていたり汚れている部分がなく、シワやカール、裁断不良によるバリなどがないことを確認してからセットしてください。

1 用紙トレイの取っ手を持ち上げながらトレイをゆっくり引き出す

2 用紙圧板を押し下げる

用紙圧板の中央をロックがかかるところまで押し下げます。

3 用紙をトレイに入れる

用紙がトレイの右側にあるツメより下になっていることを確認してください。

メモ
- 指示線（▼ ▼）を超えない枚数（約250枚まで）をセットします。セットした用紙が指示線を超えている場合は紙づまりの原因となります。
- 用紙をセットする前に用紙をよくさばいてください。さばかないと用紙が重なって複数枚給紙され、紙づまりの原因となります。
- 用紙は必ずそろえてセットしてください。また、用紙をつぎたすときは、つぎたす用紙といっしょにそろえてからセットしてください。
- セットした用紙が全て同じサイズと種類であることを確認してください。
- 用紙をセットするとき、用紙ガイドと用紙のあいだに隙間がないことを確認してください。また、ガイドの間隔を狭くしすぎて用紙が曲がっていないか確認してください。正しくセットしないと、ゆがんでプリントされたり紙づまりの原因となります。
- 出力された用紙がカールする場合は、用紙の表裏を入れ替えてセットすることで改善される場合があります。

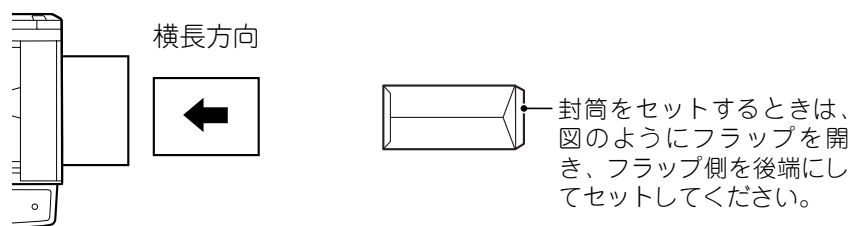
4 トレイをゆっくり押し込む

- 前にセットされていた用紙と異なるサイズの用紙をセットしたときは、「トレイの用紙設定を変更する」（20ページ）の手順に従って、トレイの用紙サイズ設定を行ってください。
- 長期間ご使用にならないときは、トレイから全ての用紙を取り出し、湿気のない場所に保管してください。用紙を長期間本機の中に放置していると、用紙が湿気を含み、紙づまりの原因となります。

手差しコピー（特殊紙にコピーする）

手差しトレイを使用すると、普通紙やOHPフィルム、ラベル紙、官製ハガキなどの特殊紙に出力することができます。

手差しトレイにセットするときのご注意

手差しトレイには、シャープ標準用紙で50枚までセットできます。（セットできる用紙の枚数は用紙の種類によって異なります。）
A6サイズの用紙、官製ハガキ、封筒をセットするときは必ず横長方向にセットしてください。
往復ハガキは、必ず縦長方向にセットしてください。

- 封筒をセットするときは、先端部分がまっすぐであり、糊づけされている部分が浮き上がっていないことを確認してください。
- シャープ標準用紙以外の普通紙や、ハガキおよびシャープ推奨のOHPフィルム以外の特殊紙、裏面へのコピーの場合は、必ず1枚ずつ挿入してください。
- 用紙をつぎたすときは手差しトレイ上の用紙をいったん取り出し、つぎたす用紙といっしょにそろえてから再度セットしてください。そのままつぎたすと、紙づまりの原因となります。また、つぎたす用紙は、すでにセットされている用紙と同じサイズと種類の用紙をお使いください。
- OHPフィルムは、シャープ推奨のSF-4A6Fをご使用ください。コピーするときは、シールが貼られている面を下にして、手差しトレイにセットしてください。
- 原稿よりも小さいサイズの用紙には出力しないでください。出力の汚れの原因となります。
- インクジェット紙・普通紙ファクスやレーザープリンタなどでプリントされた用紙には出力しないでください。出力の汚れの原因となります。
- わらばん紙は、表面がけばだっていないものをご使用ください。けばだったものを使用すると、出力の汚れの原因となります。
- のし紙は、表面を金粉で加工していないものや、けばだっていないものをご使用ください。表面を加工したものやけばだったものを使うと、出力の汚れの原因となります。

ハガキについて

- 官製ハガキをご使用ください。
- 折り目のついていない往復ハガキは使用できます。
- 私製ハガキ、絵ハガキ、切手の貼ってあるハガキ、インクジェット紙の官製ハガキは使用できません。紙づまりや出力の汚れの原因となります。

封筒について

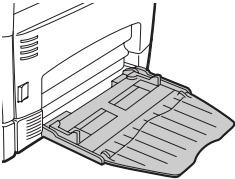
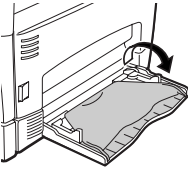
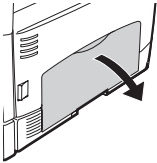
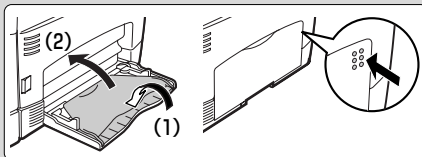
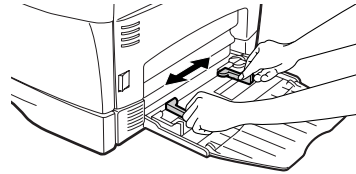
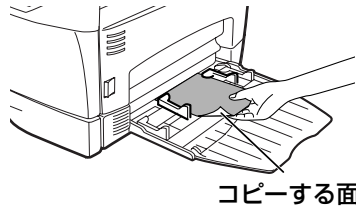
次の封筒は使用しないでください。紙づまりの原因となります。
- 金属タブ、留め金、ひも、穴、窓があいているもの。
- 繊維の粗いもの、カーボン紙、和紙、光沢があるもの。
- 2つ以上の折り返しがあるもの。
- 折り返しののりしろ部分にテープ、フィルム、紙が貼られているもの。
- 折り返しが折られているもの。
- 折り返しののりしろ部分に水をつけるとのりになるもの。
- ラベルや切手が貼られているもの。
- 空気が入り、ふくらんでいるもの。
- 接着部分からのりがはみ出しているもの。
- 接着部分がはがれているもの。

手差しトレイへの用紙補給

- 用紙は必ず横長方向にセットしてください。
- ハガキや特殊紙、裏面へのコピーの場合は、連続コピーせず、必ず1枚ずつ挿入してコピーしてください。
- OHP フィルムにコピーする場合、コピーごとに用紙を取り出してください。コピーされた用紙を重ねないようにしてください。

2

1 手差しトレイを開き、側面カバーを開く

メモ

手差しトレイを閉じるときは、（1）・（2）の順で閉じ、トレイの右端にある球形突起部を、カチッと音がするまで閉じてください。

2 手差しガイドを用紙の幅に合わせて調節する

3 コピーする面を下にして、手差しガイドに沿って用紙を突き当たるところまで確実に挿入する

4 [トレイ選択] キー（ ）を押して、手差しトレイを選択する

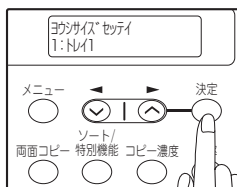
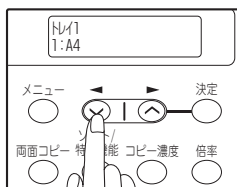
トレイの用紙設定を変更する

トレイの用紙サイズを変更したときは、必ず次の手順に従ってトレイの用紙設定を変更してください。

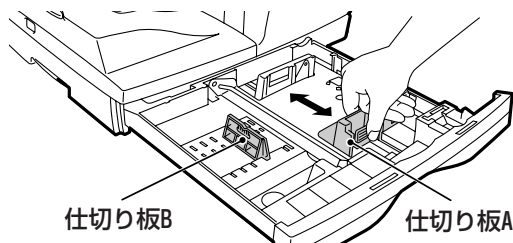
- 用紙切れや紙づまりなどの一時停止中は、用紙サイズは設定できません。
- トレイの用紙設定はコピーモードで行ってください。コピー実行中、プリントデータおよびファクスデータ出力中は、用紙サイズは変更できません。

1 [メニュー]キーを押す

2 [◄]キー（∨）または[►]キー（∧）で“2：ヨウシサイズセッテイ”を表示させ、[決定]キーを押す

3 [◄]キー（∨）または[►]キー（∧）で用紙設定を行うトレイを表示させ、[決定]キーを押す

4 [◄]キー（∨）または[►]キー（∧）で使用する用紙サイズを表示させ、[決定]キーを押す

用紙サイズは[◄]キー（∨）または[►]キー（∧）を押すごとに、次のように切り替わります。
“A4” → “B5” → “A5” → “8.5x14” → “8.5x13” → “8.5x11” → “5.5x8.5”

メモ　トレイの用紙サイズ設定が終了したら、[メニュー]キーを押してください。

5 トレイ内の仕切り板を、用紙の縦と横のサイズに合わせる

- 仕切り板Aはスライド式です。固定ノブをつまみながら、補給する用紙の目盛りの位置にスライドさせてください。
- 仕切り板Bは差し込み式です。取りはずして、補給する用紙の目盛りの位置に差し込んでください。

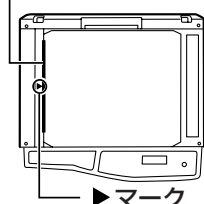
3 コピー機能

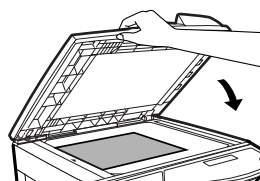
この章は、基本的なコピーのとりかたについて説明しています。

基本的なコピーのとりかた

原稿台（ガラス面）を使う

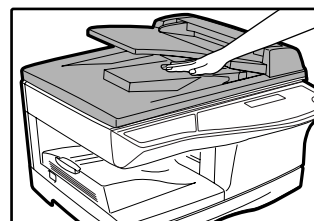
- 原稿台（ガラス面）には215.9mmx355.6mmまでの大きさの原稿をセットできます。
- コピーした際、原稿の端部がコピーされないことがあります（欠け幅）。欠け幅については、「仕様」（84ページ）を参照してください。

1 両面原稿自動送り装置を開き、原稿台（ガラス面）に原稿を下向きにしてセットする

原稿台スケールのサイズに合わせてセットしてください。（▶マークに原稿端辺の中心を合わせてください。）

2 両面原稿自動送り装置を閉じる

3 コピー枚数などを設定し、[スタート]キー（）を押す

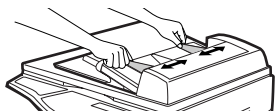
- コピーを中止するときは［ クリア ］キー（C）、または[リセット]キー（）を押します。
- コピーの設定に関しては、24 ～ 25ページを参照してください。

本や折り目、シワのある原稿をコピーするときは

図のように両面原稿自動送り装置を押さえながらコピーしてください。両面原稿自動送り装置がきっちりしまっていない状態でコピーすると、コピー画像に影が出たり画像がぼやけたりすることがあります。折り目、シワのある原稿はセットする前によく伸ばしてください。

両面原稿自動送り装置を使う

- A5～A4の大きさで、質量が52g/m²～90g/m²の原稿を使用することができます。一度にセットできる枚数は、標準紙で最大30枚となります。
- 丸まったり反ったりしている原稿は、セットする前にまっすぐにのばしてください。丸まったり反ったりしたままの原稿は原稿づまりの原因となります。
- 原稿は横長方向にセットしてください。
- 原稿にクリップやステープルの針がついていないか確認してください。
- コピーした際、原稿の端部がコピーされないことがあります（欠け幅）。欠け幅については、「仕様」（84ページ）を参照してください。
- とじしろ機能を使う場合、とじしろを作る位置に注意してください。（33ページ）

1 原稿台（ガラス面）に原稿が残っていないことを確認する

2 原稿ガイドを原稿サイズに合わせて調節する

3 原稿をコピーしたい面を上向きにして原稿セット台にセットする

操作パネルの原稿送りランプが点灯します。ランプが点灯しない場合は、原稿が正しくセットされていないか、両面原稿自動送り装置がきっちり閉じられていません。

4 コピー枚数などを設定し、[スタート]キー（◇）を押す

- 両面原稿自動送り装置からコピーすると、通常はソートモードでコピーされます。（29 ページ）ディスプレイには、自動的にチェックマーク“✓”が表示されます。（13ページ）ユーザープログラムの“ソート ジドウセンタク”が無効に設定されていると、ソートモードではコピーされません。（57ページ）
- コピーを途中で中止するときは[クリア]キー（C）、または[リセット]キー（⊘）を押します。
- コピーの設定に関しては、24～25ページを参照してください。

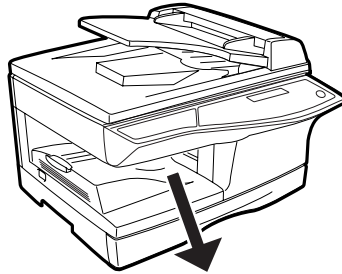
両面原稿自動送り装置で使用できない原稿

次のような原稿は使用できません。原稿がつまったり、コピー汚れの原因となります。

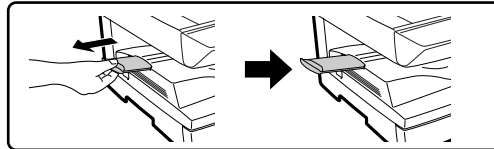
- OHPフィルムやトレーシングペーパーなど、透明または半透明の原稿、写真
- 薄紙
- カーボン紙、感熱紙
- シワ、折れ、破れのある原稿
- 貼り合わせ、切り抜きのある原稿
- のりの付いた原稿
- ファイル用の穴があいた原稿
- インクリボン（熱転写方式）で出力した原稿や、熱転写用紙を使った原稿

ストリームフィーディングモードについて

両面原稿自動送り装置がすべての原稿を送ってから5秒間、ディスプレイに“ツヅケテ ゲンコウセットデ ジドウテキニ スタートシマス”のメッセージが表示されます。メッセージが表示されているあいだに新しい原稿を両面原稿自動送り装置にセットすると、原稿が自動的に送り込まれてコピーできます。ストリームフィーディングモードは、ユーザープログラムの“ストリームフィーディングモード”で無効にすることができます。（56ページ）

排紙トレイの容量

排紙トレイの最大収納枚数は
200枚です。

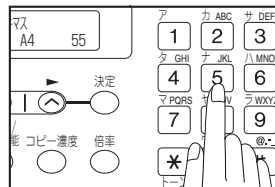
排紙トレイの延長

A4以上のサイズの用紙にコピーするときは、排紙サポートを引き出してください。

ペーパーホルダーアーム

排紙トレイにはペーパーホルダーアームがあり、出力された用紙を押さえてばらつきを防ぐことができます。（11ページ）

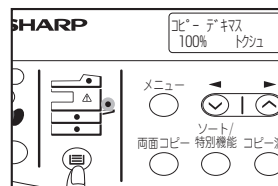
- 排紙トレイには最大200枚の用紙（A4普通紙の場合）が収納できます。排紙トレイに200枚以上排紙されると紙づまりの原因となります。
- 取り出した出力紙を排紙トレイに戻すときは、ペーパーホルダーアームを持ち上げ、アームの下に挿入してください。

コピー枚数を設定する

数字キーを押してコピー枚数を設定します。

- 設定したコピー枚数がディスプレイに表示されます。最大99枚まで設定できます。
- 1枚だけコピーするときは、表示されている枚数が“0”のままでもコピーできます。

メモ　設定枚数をまちがえたときは、[クリア]キー（C）を押して、正しく設定しなおしてください。

トレイを選択する

［トレイ選択］キー（ ）を押して選択します。
［トレイ選択］キー（ ）を押すごとにトレイが切り替わり、選択されているトレイのトレイ位置ランプが点灯します。トレイは次の順に切り替わります。
トレイ→2段目のトレイ（1段給紙ユニット装着時）→手差しトレイ

メモ　プリント中に用紙がなくなったときや、トレイが正しくセットされていないときは、トレイ位置ランプが点滅します。

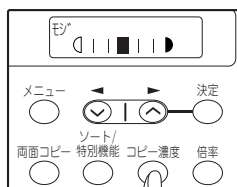
コピーを濃くする/薄くする

標準状態では、コピーする原稿に合わせて濃度を自動的に調整する「自動濃度調整」がはたらいています。濃度を調節したいときは次の手順で行います。（原稿の種類（2タイプ）に応じてそれぞれ手動で5段階の濃度設定を選択することができます。）自動濃度調整の濃度は、ユーザープログラムの“ノウドチョウセイ”で変更できます。（57ページ）

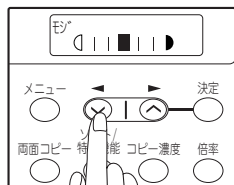
原稿の種類について

自動（ジドウ）：自動濃度調整がはたらいている状態です。コピーする原稿に合わせて自動的に濃度が調整されます。色のついた部分や、背景の影の部分などは濃度を低く設定します。
文字（モジ）：濃度が低い部分を高めに、背景の濃度が高い部分を低めに設定して、文字を見やすくします。
写真（シャシン）：写真の中間階調をより鮮明にコピーします。

1 原稿をセットする（21～22ページ）

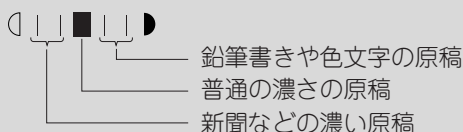
2 ［コピー濃度］キーで原稿の種類を選択する

原稿の種類は［コピー濃度］キーを押すごとに、“ジドウ”→“モジ”→“シャシン”の順に切り替わります。

メモ　自動濃度調整に戻すときは、［コピー濃度］キーを押して“ジドウ”を選択してください。

3 必要に応じて文字モードまたは写真モードの濃度を調節する

濃くとりたいときは［►］キー（ ）を押し、薄くとりたいときは［◄］キー（ ）を押します。

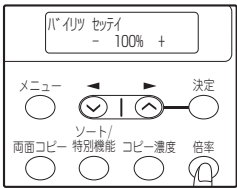
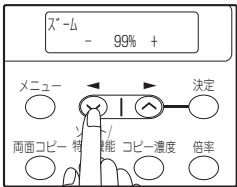
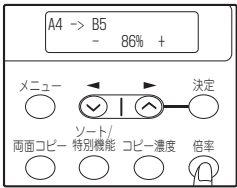
4 ［決定］キーを押す

5 コピー枚数などを設定し、［スタート］キー（ ）を押す

メモ　**濃度の数値の目安（“モジ”を選択した場合）**

拡大・縮小コピーする

25%から400%の範囲で拡大・縮小コピーがとれます。（両面原稿自動送り装置を使う場合、選択できる倍率は50%から200%になります。）〔倍率〕キーであらかじめ設定されている8種類の中から希望の倍率を素早く選ぶことができます。また、〔◄〕キー（∨）または〔►〕キー（∧）で1%きざみに任意の倍率を設定することができます。

1 原稿をセットし、用紙サイズを確認する

2 [倍率]キーを押す

3 [倍率]キー、[◄]キー（∨）または [►] キー（∧）で希望の倍率を選択し、[決定] キーを押す

固定倍率を選ぶ場合

〔倍率〕キーを押すごとに、固定倍率は次の順で切り替わります。

“100%” → “86%” → “70%” →“50%”→“25%”→ “400%” → “200%” → “141%”

（“25%” および “400%” は原稿台（ガラス面）使用時のみ）

ズーム倍率を微調整する場合

25%から400%まで（両面原稿自動送り装置を使う場合は50%～200%まで）1%きざみで設定できます。

〔◄〕キー（∨）または〔►〕キー（∧）で調整してください。

メモ

- 倍率を等倍（100%）に戻すときは、ディスプレイに “100%” と表示されるまで[倍率]キーを押してください。
- 〔倍率〕キーで希望の倍率に近い値を選択してから[◄]キー（∨）または[►]キー（∧）を押して倍率を1%きざみで設定します。
- 〔◄〕キー（∨）または〔►〕キー（∧）を押し続けると倍率がすばやく変わりますが、固定倍率と同じ値で停止します。この場合、もう一度キーを押し直してください。

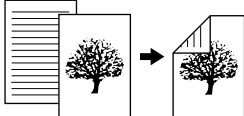
4 コピー枚数などを設定して [スタート] キー（◇）を押す

排紙トレイにコピーされた用紙が出てきます。

3

倍率早見表

拡大・縮小コピーを行うときの、原稿サイズと用紙サイズの組み合わせに応じた適切な倍率は次のとおりです。（いずれも原稿と用紙のセット方向が同一方向の場合の倍率を示しています。）

（単位：%）

用紙 原稿	A4	B5	A5	B6	A6
A4	100	86	70	61	50
B5	115	100	81	70	57
A5	141	122	100	86	70
B6	163※	141※	115※	100※	81※
A6	200※	173※	141※	122※	100※

※両面原稿自動送り装置を使用する場合は設定できません。

4 便利なコピー機能

自動両面コピー

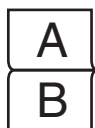
2枚の原稿を1枚の用紙の両面にコピーできます。また、両面原稿自動送り装置を使うと、両面原稿から両面コピーなど簡単に自動両面コピーができます。

<table>
<tr><th></th><th colspan="3">原稿→用紙</th><th>使用できる用紙サイズ</th></tr>
<tr><td>原稿台
（ガラス面）</td><td colspan="3">片面原稿 → 両面コピー</td><td>A5、B5、A4
• 手差しトレイは使用できません。</td></tr>
<tr><td>両面原稿自動送り装置</td><td>片面原稿→両面コピー※1</td><td>両面原稿→片面コピー</td><td>両面原稿→両面コピー※1</td><td>A5、B5、A4
• 特殊紙は使用できません。
※1 手差しトレイは使用できません。</td></tr>
</table>

片面原稿を自動両面コピーするとき、コピーされる画像の向きは、用紙のとじ位置によって決まります。

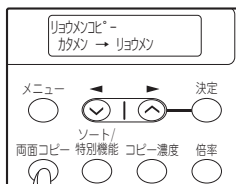
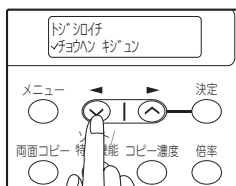
短辺基準（タンペン キジュン）：用紙を短辺で綴じるときに選択します。

（原稿の向き：横長方向）　（原稿の向き：縦長方向）

長辺基準（チョウヘン キジュン）：用紙を長辺で綴じるときに選択します。

（原稿の向き：横長方向）　（原稿の向き：縦長方向）

原稿台（ガラス面）を使う場合

1 **原稿を原稿台（ガラス面）にセットし、両面原稿自動送り装置を閉じる**

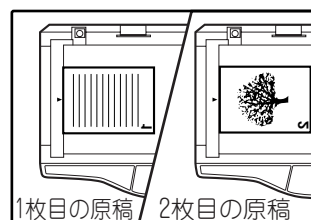
2 **[両面コピー]キーを押して“カタメン → リョウメン”を表示させ、[決定]キーを押す**

3 **[◄]キー（ ）または[►] キー（ ）でとじしろ位置を選択し、[決定]キーを押す**

とじしろ位置は、“チョウヘン キジュン”または“タンペン キジュン”を選択します。
“チョウヘン キジュン”または“タンペン キジュン”については、26ページを参照してください。

4 **コピー枚数などを設定し、[スタート]キー（ ）を押す**

“[スタート]:ヨミコミ[#]:出力シテ シュウリョウ”と表示され、原稿が読み込まれます。

5 **次の原稿と入れ替えて両面原稿自動送り装置を閉じ、[スタート]キー（ ）を押す**

手順5を繰り返してすべての原稿をメモリーに読み込ませます。
原稿を2枚読み込むごとにプリントされます。
原稿が奇数枚で“[スタート]:ヨミコミ [#]:出力シテ シュウリョウ”と表示されているときは、すべての原稿を読み込んだあと[#]キーを押してください。

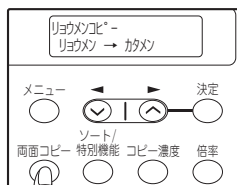
1枚目の原稿 2枚目の原稿

- 読み込んだ画像データをメモリーから消去するときは[クリア]キー（ C ）、または[リセット]キー（ ）を押します。これらのキーを押すとコピー枚数の設定も消去されます。
- 自動両面コピーを中止するときは、[リセット]キー（ ）を押すか、手順4を行う前に[両面コピー]キーを押して“カタメン → カタメン”を選択し、[決定]キーを押してください。
- 手順4で特別機能のソートモードを選択した場合は、[#]キーを押すとコピー（プリント）を開始します。

4

両面原稿自動送り装置を使う場合

1 原稿セット台に原稿をセットする（22ページ）

奇数枚の原稿をセットした場合は、最後は片面コピーになります。

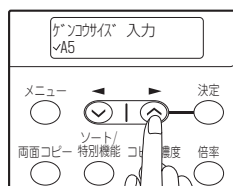
2 [両面コピー]キー押して両面コピーのモードを選択する

〔両面コピー〕キーを押すごとに、モードが次のように切り替わります。
“カタメン → カタメン”→“カタメン → リョウメン”→“リョウメン → リョウメン”→“リョウメン → カタメン”

両面コピーの種類に応じて、次のモードを選択してください。

- 片面原稿から両面コピー：“カタメン → リョウメン”
- 両面原稿から両面コピー：“リョウメン → リョウメン”
- 両面原稿から片面コピー：“リョウメン → カタメン”

3 [決定]キーを押す

手順2で“カタメン → リョウメン”を選択した場合は、とじしろ位置として、“チョウヘン キジュン”または“タンペン キジュン”のいずれかを選択して[決定]キーを押してください。“チョウヘン キジュン”と“タンペン キジュン”については、26ページのイラストを参照してください。

4 “リョウメン → リョウメン”または“リョウメン → カタメン”を選択した場合は、[◄]キー（⌄）または[►]キー（⌃）で原稿サイズを選択し、[決定]キーを押す

次の原稿サイズが選択できます。
“A4”→“B5”→“A5”→“8.5x14”→“8.5x13”→“8.5x11”→“5.5x8.5”

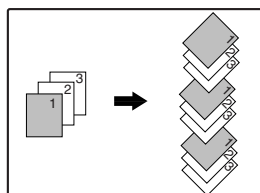
5 コピー枚数などを設定し、[スタート]キー（◇）を押す

排紙トレイにコピーされた用紙が出てきます。

- 自動両面コピーを中止するときは、〔リセット〕キー（⊘）を押すか、手順4を行う前に〔両面コピー〕を押して“カタメン → カタメン”を選択し、〔決定〕キーを押してください。
- 自動両面コピー中は、原稿反転トレイにはさわらないでください。

ソートコピー

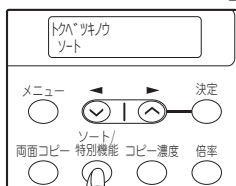
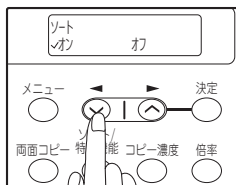
複数枚の連続した原稿を1部ずつ仕分けて排紙できます。

メモ　読み込み可能な原稿枚数は、原稿のタイプ（写真、文字など）やプリンタ機能に割り当てられたメモリーの容量によって異なります。プリンタ機能に割り当てられたメモリーの容量は、ユーザープログラムの「プリンタノ メモリーワリアテ」で変更することができます。（56ページ）

ソートコピー

4

原稿台（ガラス面）を使う場合

1 原稿をセットする（21ページ）

2 [ソート/特別機能]キーを押して“ソート”を表示させ、[決定]キーを押す

3 [◄]キー（⌄）を押してチェックマーク“✓”を“オン”に付け、[決定]キーを押す

4 コピー枚数などを設定し、[スタート]キー（◇）を押す

“[スタート]:ヨミコミ [#]:出力シテ シュウリョウ”と表示され、原稿が読み込まれます。読み込んだ原稿をプリントするときは、[#]キーを押してください。

5 次の原稿と入れ替えて[スタート]キー（◇）を押す

手順5を繰り返してすべての原稿をメモリーに読み込ませます。

メモ　読み込んだ画像データをメモリーから消去するときは[クリア]キー（C）、または[リセット]キー（⊘）を押します。これらのキーを押すとコピー枚数の設定も消去されます。

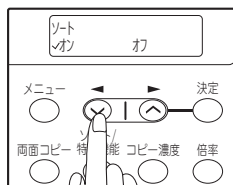
6 すべての原稿を読み込ませたら、[#]キーを押す

排紙トレイにコピーされた用紙が出てきます。

メモ
- ソートコピーを中止するときは[クリア]キー（C）を押します。
- ソートコピーモードを解除するときは[リセット]キー（⊘）を押します。

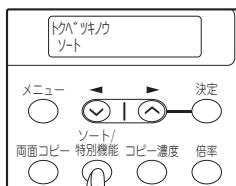
両面原稿自動送り装置を使う場合

1 原稿をセットする（22ページ）

メモ
- ユーザープログラムの「ソート ジドウセンタク」が有効の場合、両面原稿自動送り装置からのコピーは、通常ソートモードで出力されます。（57ページ）このときは、手順4の操作を直接行ってください。チェックマーク“✓”が自動的にディスプレイに表示されます。（13ページ）
- 「ソート ジドウセンタク」が無効で、ソートモードで出力したいときは、次の操作を行ってソートモードを選択してください。

2 [ソート/特別機能]キーを押して“ソート”を表示させ、[決定]キーを押す

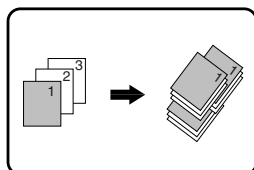
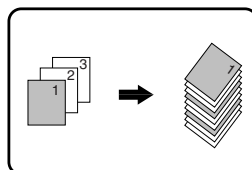
3 [◄]キー（⌄）を押してチェックマーク“✓”を“オン”に付け、[決定]キーを押す

4 コピー枚数などを設定し、[スタート]キー（◇）を押す

排紙トレイにコピーされた用紙が出てきます。

メモ
- ソートコピーを中止するときは[クリア]キー（C）を押します。
- ソートコピーモードを解除するときは[リセット]キー（⊘）を押します。

メモリーがいっぱいになったときは
- 原稿の読み込み途中でメモリーがいっぱいになると、ディスプレイに“メモリーガ イッパイデス スタートキーデ フッキシマス”と表示され読み込み動作を中断します。
- それまで読み込んだデータをコピーする場合は[スタート]キー（◇）を押してください。
- コピーせずにデータを消去する場合は[リセット]キー（⊘）または[クリア]キー（C）を押してください。

ソートコピー中のオフセット機能

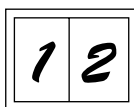
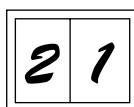
オフセット機能は、できあがった出力紙を1部ずつずらして排出し、排紙トレイから取り出しやすく整頓する機能です。
オフセット機能は、ユーザープログラムの「オフセット キノウ」で解除できます。（56ページ）

オフセット機能

オフセット機能を無効にした場合

複数ページの画像を1枚の用紙に割り付けしてコピーする (2in1コピー)

複数ページの原稿画像を1枚の用紙に均等に割り付けしてコピーすることができます。
ページ数の多い資料をコンパクトにまとめるときに便利です。

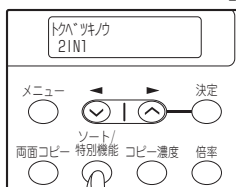
タイプ1

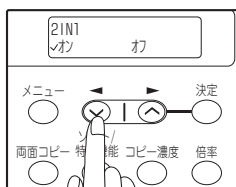
タイプ2

メモ

- 原稿のサイズとコピーする用紙サイズに応じて適切な倍率が自動的に設定されます。縮小倍率は、原稿台（ガラス面）を使用するときは25%まで、両面原稿自動送り装置を使用する場合は50%までです。原稿のサイズとコピーする用紙サイズによっては、画像が欠けることがあります。
- 2in1コピーは、とじしろコピーと組み合わせることはできません。
- 2in1コピーの割り付けパターンは、ユーザープログラムの "2in1セッテイ" で変更できます。(56ページ)
- 2in1コピーは、手差しトレイは使えません。

4

原稿台（ガラス面）を使う場合

1 原稿をセットする（21ページ）

2 [ソート/特別機能]キーを押して "2IN1" を表示させ、[決定]キーを押す

3 [◄]キー（⌄）を押してチェックマーク "✓" を "オン" に付け、[決定]キーを押す

4 [◄]キー（⌄）または[►]キー（⌃）で原稿サイズを選択し、[決定]キーを押す

次の原稿サイズが選択できます。
"A4" → "B5" → "A5" → "8.5x14" → "8.5x13" → "8.5x11" → "5.5x8.5"

5 コピー枚数などを設定し、[スタート]キー（◇）を押す

"[スタート]:ヨミコミ[#]:出力シテ シュウリョウ" と表示され、原稿が読み込まれます。
読み込んだ原稿をプリントするときは、[#]キーを押してください。

6 次の原稿と入れ替えて [スタート] キー（◇）を押す

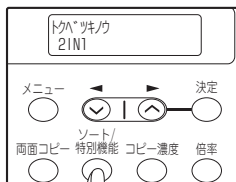
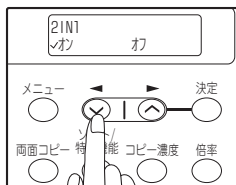
手順6を繰り返して、すべての原稿をメモリーに読み込ませます。
原稿を2枚読み込むごとにプリントされます。
原稿が奇数枚で "[スタート]:ヨミコミ [#]:出力シテ シュウリョウ" と表示されているときは、すべての原稿を読み込んだあと[#]キーを押してください。

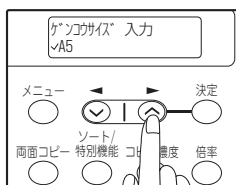
メモ

- 読み込んだ画像データをメモリーから消去するときは[クリア]キー（C）を押します。[クリア]キー（C）を押すとコピー枚数の設定も消去されます。
- 2in1コピーを中止するときは[クリア]キー（C）を押します。
- 2in1コピーモードを解除するときは[リセット]キー（⊘）を押します。

両面原稿自動送り装置を使う場合

1 原稿をセットする（22ページ）

2 [ソート/特別機能]キーを押して“2IN1”を表示させ、[決定]キーを押す

3 [◄]キー（⌄）を押してチェックマーク“✓”を“オン”に付け、[決定]キーを押す

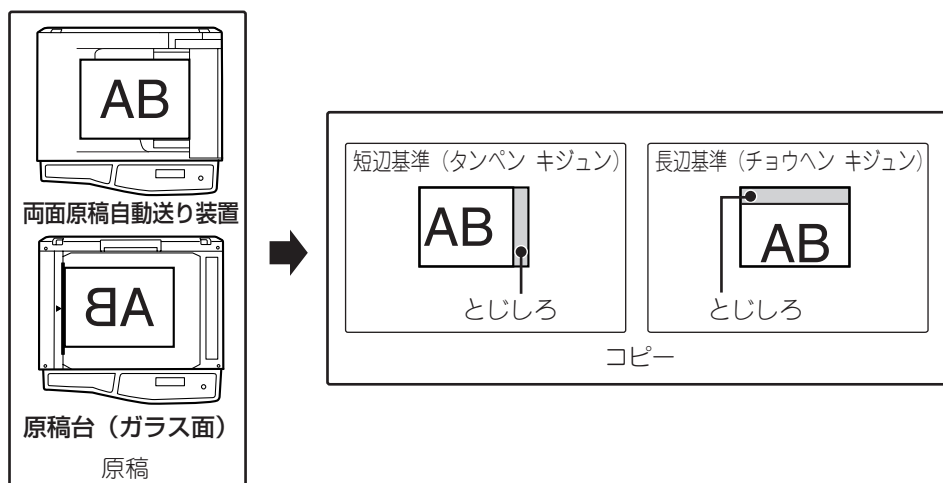
4 [◄]キー（⌄）または[►]キー（⌃）で原稿サイズを選択し、[決定]キーを押す

次の原稿サイズが選択できます。
“A4”→“B5”→“A5”→“8.5x14”→“8.5x13”→“8.5x11”→“5.5x8.5”

5 コピー枚数などを設定し、[スタート]キー（◇）を押す

排紙トレイにコピーされた用紙が出てきます。

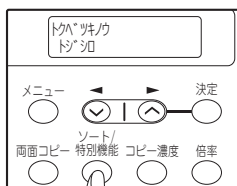
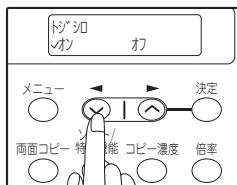
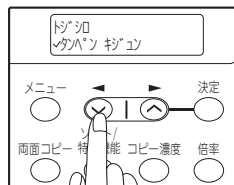
- 2in1コピーを中止するときは[クリア]キー（C）を押します。
- 2in1コピーモードを解除するときは[リセット]キー（⊘）を押します。

とじしろを作ってコピーする （とじしろ）

原稿の画像を移動させて、用紙の端にとじしろを作ることができます。標準状態では、用紙の左に幅約10mmのとじしろが設定されます。

4

- とじしろコピーは、2in1コピーと組み合わせることはできません。
- とじしろ幅はユーザープログラムの「トジシロノ ハバセッテイ」で変更することができます。(56ページ)
- 原稿の画像をずらしてとじしろを作るため、画像の端が欠けてコピーされることがあります。

1 原稿をセットする

2 [ソート/特別機能]キーを押して“トジシロ”を表示させ、[決定]キーを押す

3 [◄]キー（⌄）を押してチェックマーク“✓”を“オン”に付け、[決定]キーを押す

4 [◄]キー（⌄）または[►]キー（⌃）でとじしろ位置を選択し、[決定]キーを押す

“チョウヘン キジュン”または“タンペン キジュン”から選択します。
とじしろ位置については、上の図を参照してください。

5 コピー枚数などを設定し、[スタート]キー（◇）を押す

排紙トレイにコピーされた用紙が出てきます。

メモ

- とじしろコピーを中止するときは[クリア]キー（C）を押します。
- とじしろコピーを解除するときは[リセット]キー（⊘）を押します。

5 ソフトウェアのインストール

この章では、本機のプリンタ機能やスキャナ機能を使用するために必要なソフトウェアのインストール方法、インストールしたソフトウェアの設定方法、プリンタ機能とスキャナ機能の電子マニュアルの読みかたについて説明しています。

別売品のネットワーク拡張キットをご購入いただいて、本機をネットワークプリンタおよびネットワークスキャナとしてお使いいただくためのソフトウェアのインストール方法については、ネットワーク拡張キットに付属の「AR-155FG用ソフトウェア」CD-ROMに収録されているオンラインマニュアルを参照してください。

- 本書では、画面の説明や操作手順は、Windows XP環境でお使いになる場合を主体に説明しています。Windowsのバージョンにより表示される画面が異なることがあります。
- 本書で使用している「CD-ROM」とは、付属の「SHARP デジタル複合機AR-155FGソフトウェアCD-ROM」のことを指しています。

AR-155FGソフトウェアについて

付属のCD-ROMには以下のソフトウェアが収録されています。

MFPドライバ

プリンタドライバ

コンピュータから本機のプリンタ機能を使用するためのドライバです。
またプリンタドライバには、本機を監視して印刷の状態やドキュメント名、エラーメッセージなどを知らせるユーティリティのプリントステータスウィンドウが含まれています。
※ パラレルポートで接続した場合、プリントステータスウィンドウは、パラレルポート（コンピュータ側）がECPモードに設定されているときのみ使用可能です。お使いのコンピュータの取扱説明書を参照するかコンピュータの製造元にお問い合わせのうえ、パラレルポートモードを設定してください。

スキャナドライバ（USB使用時のみ）

TWAIN規格およびWIA規格に対応したアプリケーションソフトから本機のスキャナ機能を使用するためのドライバです。

Sharpdesk

文書や画像データのファイリング、アプリケーションの起動などが簡単な操作でできる統合管理ソフトです。

Button Manager

本機の[スキャナ]キーからスキャナ機能を活用するためのユーティリティソフトです。

e.Typistエントリー

紙にプリントされた文書を読み取り、OCR（光学的文字認識）技術を用いてその画像データをテキストデータ（文字）に変換するソフトウェアです。
e.Typistエントリーのインストール方法と使いかたについては、付属のCD-ROMの下記の場所に収録されているユーザーズガイドを参照してください。（ただし下記例は、CD-ROMのドライブを「R」ドライブに設定している場合です。）
R:¥Manual¥eTypist.pdf

メモ
スキャナ機能は、Windows 98/Me/2000/XPでUSB接続時のみ利用可能です。Windows NT 4.0またはパラレル接続でお使いの場合は、プリンタ機能のみ利用できます。

インストールする前に

ソフトウェア使用許諾契約書について

付属のCD-ROM でソフトウェアをインストールする際、ソフトウェア使用許諾契約書が表示されます。お客様におかれましては、CD-ROM および本機に含まれるソフトウェアの使用にあたり、このソフトウェア使用許諾契約書の条件に拘束されることを承諾されたものとします。

動作環境を確認する

ソフトウェアをインストールするには、使用するコンピュータが下記の条件を満たしていることを確認してください。

コンピュータの種類	IBM PC/AT互換機 USB2.0※1/1.1※2インタフェースまたは双方向パラレルインタフェース（IEEE1284準拠）を標準装備している機種
OS（日本語版）の種類※3、4	Windows 98、Windows Me、Windows NT Workstation 4.0（Service Pack 5以降）※5、Windows 2000 Professional※5、Windows XP Professional※5、Windows XP Home Edition※5
ディスプレイ	800×600ドット（SVGA）、256色以上の表示能力
ハードディスクの空き容量	150MB以上
その他のハードウェア環境	上記OSが十分に動作する環境

※1 本機のUSB2.0コネクターは、Microsoft社製のUSB2.0ドライバがプリインストールされているコンピュータ、もしくはMicrosoft社がWindows Update上で提供しているWindows 2000 Professional/XP用USB2.0ドライバをインストールしたコンピュータでのみ、USB2.0規格のデータ転送速度で動作します。
※2 USBインタフェース標準搭載の、Windows 98、Windows Me、Windows 2000 Professional、Windows XP Professional、またはWindows XP Home Editionプリインストールモデルに対応しています。
※3 MS-DOSモードでは印刷できません。
※4 本機はMacintosh環境からのプリントに対応していません。
※5 この統合インストーラでソフトウェアをインストールするには、アドミニストレータ権限が必要です。

インストール環境と使用できるソフトウェアについて

OSのバージョンと接続するインタフェースによって、インストールできるソフトウェアは次のようになります。

<table>
<tr><th rowspan="2">ケーブル</th><th rowspan="2">OS（日本語版）の種類</th><th colspan="2">MFPドライバ</th><th rowspan="2">Button Manager</th><th rowspan="2">Sharpdesk</th></tr>
<tr><th>プリンタドライバ</th><th>スキャナドライバ</th></tr>
<tr><td>USB※1</td><td>Windows 98/Me/2000/XP</td><td rowspan="2">○</td><td colspan="3">○</td></tr>
<tr><td>パラレル</td><td>Windows 98/Me/ NT 4.0/ 2000/XP</td><td colspan="3">X※2</td></tr>
</table>

※1 Windows 98/MeはUSB2.0規格に対応していません。USB1.1と同等の仕様で使用できます。USB2.0の仕様に準拠した印刷速度は、お使いのコンピュータのOSがWindows 2000/XPで、USB2.0対応のUSBケーブルを用いてコンピュータのUSB2.0ポートに接続したときのみ使用できます。また、USBハブに接続する場合は、USB2.0に対応したハブが必要です。
※2 Windows 98/Me/2000/XPでは、Button ManagerおよびSharpdeskをインストールすることはできますが、本機のスキャナ機能を使用することはできません。

ソフトウェアをインストールする

- USBまたはパラレル接続でインストールしたあと、別の接続方法で使用する場合は、ソフトウェアをいったん削除し（67ページの「ソフトウェアを削除する」参照）、使用する接続方法でソフトウェアをインストールし直してください。
- 以降の説明は、マウスが右利き用に設定されていることを前提にしています。
- スキャナ機能は、USB接続時のみ動作します。
- エラー画面が表示された場合は、画面に従って問題を解決してください。問題解決後、インストールを続けます。問題の種類によってはインストーラを終了しなければならない場合があります。その場合は[キャンセル]ボタンをクリックしてインストーラを終了し、問題解決後に、はじめからインストールし直してください。

標準インストール（USBケーブル接続のみ）

ここでは、ソフトウェアを標準インストールする手順について説明しています。USBケーブルで接続する場合は標準インストールをお使いになることをお勧めします。

標準インストールは、本機をUSBケーブルで接続するときのみ使用できます。パラレルケーブルで接続する場合はカスタムインストールの手順で行ってください。（38ページ）

1 本機とコンピュータがUSBケーブルで接続されていないことを必ず確認する

ケーブルが接続されていると、プラグアンドプレイ画面が表示されます。そのときは、プラグアンドプレイ画面の[キャンセル]ボタンをクリックしてプラグアンドプレイを終了させ、ケーブルをはずしてください。

メモ　ケーブルの接続は、手順9で行います。

2 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入する

3 [スタート]ボタンをクリックして[マイコンピュータ]（　）をクリックし、[CD-ROM]アイコン（　）をダブルクリックする

Windows 98/Me/2000をお使いの場合は、[マイコンピュータ]をダブルクリックし、[CD-ROM]アイコンをダブルクリックします。

4 [SETUP]アイコン（　）をダブルクリックする

5 「ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示されるので、画面内のソフトウェア使用許諾契約書の内容を確認して[はい]ボタンをクリックする

6 「はじめにお読みください」の画面が表示されるので、内容を確認して[次へ]ボタンをクリックする

7 [標準]ボタンをクリックする

「セットアップ手順をご案内する…」のメッセージ画面が表示されたあと、次のソフトウェアを自動的にインストールします。以降は、画面の指示に従ってインストールを進めてください。

- MFPドライバ
- Button Manager
- Sharpdesk

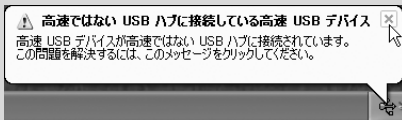
ご注意　Windows 2000/XPをお使いの場合、Windowsロゴテスト、またはデジタル署名に関する警告ウィンドウが表示されたら、必ず[続行]または[はい]ボタンをクリックしてください。

8 インストールを終了する画面が表示されたら、[閉じる]ボタンをクリックする

本機とコンピュータの接続を促すメッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックしてください。

> **メモ** インストール終了後、再起動を促すメッセージが表示される場合があります。このときは、[はい]ボタンをクリックしてコンピュータを再起動してください。

9 本機の電源が入っていることを確認し、USBケーブルで本機とコンピュータを接続する（49ページ）

本機が検知され、プラグアンドプレイ画面が表示されます。

> **ご注意** 次のメッセージが画面に表示されたら、メッセージを閉じてください。
>
> メッセージを閉じると高速USBデバイスに関する画面が表示されるので、画面を閉じてください。
> このメッセージは、本機の USB2.0 モードが「ハイスピード」モードに設定されていない場合に表示されます。USB2.0のモードは、ユーザープログラムの「USB2.0モードセンタク」で切り替えることができます。（58ページ）

10 プラグアンドプレイ画面の指示に従ってMFPドライバのインストールを進める

画面の指示に従ってインストールを進めてください。

> **ご注意** Windows 2000/XPをお使いの場合、Windowsロゴテスト、またはデジタル署名に関する警告ウィンドウが表示されたら、必ず[続行]または[はい]ボタンをクリックしてください。

> **メモ** 「USB2.0複合デバイス」に関する画面が表示された場合は、画面の指示に従ってUSB2.0複合デバイスをインストールしてください。

以上でインストールは完了です。

Button Managerをインストールしたときは、「Button Managerを登録する」（47ページ）を参照して、Button Managerの登録を行ってください。

5

カスタムインストール

ここでは、ソフトウェアをカスタムインストールする手順について説明しています。本機をパラレルケーブルで接続する場合、ネットワーク環境で共有プリンタとして使用する場合、必要なソフトウェアを選択してインストールする場合は、カスタムインストールでインストールしてください。

Windows XPにインストールする（USB/パラレル接続）

1 **本機とコンピュータがUSBまたはパラレルケーブルで接続されていないことを必ず確認する**

ケーブルが接続されていると、プラグアンドプレイ画面が表示されます。そのときは、プラグアンドプレイ画面の[キャンセル]ボタンをクリックしてプラグアンドプレイを終了させ、ケーブルをはずしてください。

メモ　ケーブルの接続は、手順14で行います。

2 **付属のCD-ROMを[CD-ROM]ドライブに挿入する**

3 **[スタート]ボタンをクリックして[マイコンピュータ]（　）をクリックし、[CD-ROM]アイコン（　）をダブルクリックする**

Windows 98/Me/NT 4.0/2000をお使いの場合は、[マイコンピュータ]をダブルクリックし、[CD-ROM]アイコンをダブルクリックします。

4 **[SETUP]アイコン（　）をダブルクリックする**

5 **「ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示されるので、画面内のソフトウェア使用許諾契約書の内容を確認して[はい]ボタンをクリックする**

6 **「はじめにお読みください」の画面が表示されるので、内容を確認して[次へ]ボタンをクリックする**

7 **[カスタム]ボタンをクリックする。**

8 **[MFPドライバ]ボタンをクリックする**

[詳細情報の表示]ボタンをクリックすると、ソフトウェアの詳細情報が参照できます。

9 **[次へ]ボタンをクリックする**

10 本機の接続方法の確認画面が表示されたら、[このコンピュータに接続]を選択し、[次へ]ボタンをクリックする

本機をネットワーク環境で共有プリンタとしてお使いになる場合は[ネットワークを経由して接続]を選択してください。この設定に関しては「サーバ経由で本機を共有プリンタとして使用する」（45ページ）を参照してください。

画面の指示に従ってインストールを進めてください。
インストールの完了画面が表示されたら[完了]ボタンをクリックしてください。

> **ご注意**
> Windowsロゴテストに関する警告ウィンドウが表示されたら、必ず[続行]ボタンをクリックしてください。

11 Button ManagerまたはSharpdeskをインストールしたい場合は、手順8の画面で[支援ツール]ボタンをクリックする

支援ツールをインストールしない場合は、[閉じる]ボタンをクリックし、手順14へお進みください。

> **メモ**
> インストール終了後、再起動を促すメッセージが表示される場合があります。このときは、[はい]ボタンをクリックしてコンピュータを再起動してください。

支援ツールをインストールする

12 [Button Manager]ボタンをクリックする

[詳細情報の表示]ボタンをクリックすると、ソフトウェアの詳細情報が参照できます。
画面の指示に従ってインストールを進めてください。

Sharpdeskをインストールする場合は、[Sharpdesk]ボタンをクリックして、画面の指示に従ってインストールを進めてください。

> **ご注意**
> - Button Managerは、USBケーブルで接続したときのみ使用できます。
> - Sharpdeskのスキャナ機能は、USBケーブルで接続したときのみ使用できます。

13 Button Managerのインストールが終了すると、手順12（39ページ）の画面に戻るので、[閉じる]ボタンをクリックする

本機とコンピュータの接続を促すメッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックしてください。

> **メモ**
> インストール終了後、再起動を促すメッセージが表示される場合があります。このときは、[はい]ボタンをクリックしてコンピュータを再起動してください。

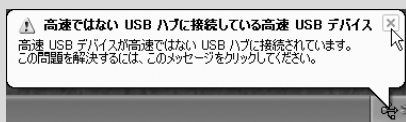
5

14 本機の電源が入っていることを確認し、USBまたはパラレルケーブルで本機とコンピュータを接続する（49ページ）

本機が検知され、プラグアンドプレイ画面が表示されます。

ご注意

次のメッセージが画面に表示されたら、メッセージを閉じてください。

高速ではない USB ハブに接続している高速 USB デバイス
高速 USB デバイスが高速ではない USB ハブに接続されています。
この問題を解決するには、このメッセージをクリックしてください。

メッセージを閉じると高速USBデバイスに関する画面が表示されるので、画面を閉じてください。
このメッセージは、本機の USB2.0 モードが「ハイスピード」モードに設定されていない場合に表示されます。USB2.0のモードは、ユーザープログラムの「USB2.0モードセンタク」で切り替えることができます。（58ページ）

15 プラグアンドプレイ画面の指示に従ってMFPドライバのインストールを進める

画面の指示に従ってインストールを進めてください。

ご注意

Windowsロゴテストに関する警告ウィンドウが表示されたら、必ず[続行]ボタンをクリックしてください。

「USB2.0複合デバイス」に関する画面が表示された場合は、画面の指示に従ってUSB2.0複合デバイスをインストールしてください。

以上でインストールは完了です。

Button Managerをインストールしたときは、「Button Managerを登録する」（47ページ）を参照して、Button Managerの登録を行ってください。

Windows 98/Me/2000にインストールする（USB接続）

1 本機とコンピュータがUSBケーブルで接続されていないことを必ず確認する

ケーブルが接続されていると、プラグアンドプレイ画面が表示されます。そのときは、プラグアンドプレイ画面の[キャンセル]ボタンをクリックしてプラグアンドプレイを終了させ、ケーブルをはずしてください。

メモ　ケーブルの接続は、手順9で行います。

2 「Windows XPにインストールする（USB/パラレル接続）」（38ページ）の手順2～7の操作を行う

3 [MFPドライバ]ボタンをクリックする

[詳細情報の表示]ボタンをクリックすると、ソフトウェアの詳細情報が参照できます。

4 インストールの説明画面が表示されるので、[次へ]ボタンをクリックする

5 本機の接続方法の確認画面が表示されたら、[このコンピュータに接続]を選択し、[次へ]ボタンをクリックする

6 インタフェースの選択画面が表示されたら、[USB]を選択し、[次へ]ボタンをクリックする

本機をネットワーク環境で共有プリンタとしてお使いになる場合は[ネットワークを経由して接続]を選択してください。この設定に関しては「サーバ経由で本機を共有プリンタとして使用する」（45ページ）を参照してください。

画面の指示に従ってインストールを進めてください。
インストールの完了画面が表示されたら[完了]ボタンをクリックしてください。

ご注意　Windows 2000をお使いの場合、デジタル署名に関する警告ウィンドウが表示されたら、必ず[はい]ボタンをクリックしてください。

5

7 Button　ManagerまたはSharpdeskをインストールしたい場合は、手順3の画面で[支援ツール]ボタンをクリックする

Button　ManagerまたはSharpdeskをインストールする場合は、「支援ツールをインストールする」（39ページ）の手順12〜13を参照してください。
支援ツールをインストールしない場合は、[閉じる]ボタンをクリックしてください。

本機とコンピュータの接続を促すメッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックしてください。

メモ　インストール終了後、再起動を促すメッセージが表示される場合があります。このときは、[はい]ボタンをクリックしてコンピュータを再起動してください。

8 本機の電源が入っていることを確認し、USBケーブルで本機とコンピュータを接続する（49ページ）

本機が検知され、プラグアンドプレイ画面が表示されます。

9 プラグアンドプレイ画面の指示に従ってMFPドライバをインストールする

画面の指示に従ってインストールを進めてください。

Windows 2000をお使いの場合、デジタル署名に関する警告ウィンドウが表示されたら、必ず[はい]ボタンをクリックしてください。

メモ　「USB2.0複合デバイス」に関する画面が表示された場合は、画面の指示に従ってUSB2.0複合デバイスをインストールしてください。

以上でインストールは完了です。

Button Managerをインストールしたときは、「Button Managerを登録する」（47ページ）を参照して、Button Managerの登録を行ってください。

Windows 98/Me/NT 4.0/2000にインストールする（パラレル接続）

1 本機とコンピュータがパラレルケーブルで接続されていないことを必ず確認する

ケーブルが接続されていると、プラグアンドプレイ画面が表示されます。そのときは、プラグアンドプレイ画面の[キャンセル]ボタンをクリックしてプラグアンドプレイを終了させ、ケーブルをはずしてください。

メモ　ケーブルの接続は、手順10で行います。

2 「Windows XPにインストールする（USB/パラレル接続）」（38ページ）の手順2～7の操作を行う

Windows NT 4.0をお使いの場合は、「Windows XPにインストールする（USB/パラレル接続）」（38ページ）の手順2～6の操作を行ってください。

3 [MFPドライバ]ボタンをクリックする

[詳細情報の表示]ボタンをクリックすると、ソフトウェアの詳細情報が参照できます。

Windows NT 4.0をお使いの場合、[支援ツール]ボタンは表示されません。また、プリンタドライバのみがインストールされます。

4 インストールの説明画面が表示されるので、[次へ]ボタンをクリックする

5 本機の接続方法の確認画面が表示されたら、[このコンピュータに接続]を選択し、[次へ]ボタンをクリックする

本機をネットワーク環境で共有プリンタとしてお使いになる場合は[ネットワークを経由して接続]を選択してください。この設定に関しては「サーバ経由で本機を共有プリンタとして使用する」（45ページ）を参照してください。

6 インタフェースの選択画面が表示されたら、[パラレル]を選択し、[次へ]ボタンをクリックする

5

7 プリンタポートを設定し、通常使うプリンタに設定するか選択して[次へ]ボタンをクリックする

使用するポートに[LPT1]を選択します。

メモ

- [LPT1]が表示されないときは、他のプリンタや周辺装置が[LPT1]ポートを使用しています。この場合はそのままインストールを進め、インストール終了後、本機が[LPT1]を使用できるようにポートの設定を変更してください。この方法は「他のプリンタによってパラレルポートが使用されているときは（パラレル接続時）」（67ページ）を参照してください。
- [ネットワークポートを追加]ボタンは、本機を共有プリンタとして使用するときにクリックします。（45ページ）ここではクリックしないでください。

8 画面の指示に従ってインストールを進める

インストールの完了画面が表示されたら[完了]ボタンをクリックしてください。

ご注意

Windows 2000をお使いの場合、デジタル署名に関する警告ウィンドウが表示されたら、必ず[はい]ボタンをクリックしてください。

9 Sharpdesk をインストールしたい場合は、手順3で[支援ツール]ボタンをクリックする

Sharpdeskをインストールする場合は、「支援ツールをインストールする」（39ページ）の手順12～13を参照してください。
Sharpdeskをインストールしない場合は、[閉じる]ボタンをクリックしてください。

本機とコンピュータの接続を促すメッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックしてください。

メモ

インストール終了後、再起動を促すメッセージが表示される場合があります。このときは、[はい]ボタンをクリックしてコンピュータを再起動してください。

10 本機とお使いのコンピュータの電源を切り、パラレルケーブルで本機とコンピュータを接続する（49ページ）

以上でMFPドライバのインストールは完了です。

サーバ経由で本機を共有プリンタとして使用する

ネットワーク環境で本機を共有プリンタとして使用する場合は、次の方法でクライアント側のコンピュータにMFPドライバをインストールしてください。

- プリントサーバ側での設定方法は、各OSの取扱説明書またはヘルプを参照してください。
  なお、ここで説明するプリントサーバとは、本機に直接接続しているコンピュータのことで、クライアントとは、そのコンピュータと同一のネットワーク上にあるプリントサーバ以外のコンピュータのことです。
- サーバ経由で本機が接続されている場合は、プリンタ機能のみ使用可能です。スキャナ機能は使用できません。

1 「Windows XPにインストールする（USB/パラレル接続）」（38ページ）の手順2～7の操作を行う

2 [MFPドライバ]ボタンをクリックする

[詳細情報の表示]ボタンをクリックすると、ソフトウェアの詳細情報が参照できます。

3 「はじめにお読みください」の画面が表示されるので、[次へ]ボタンをクリックする

4 本機の接続方法の確認画面が表示されたら、[ネットワークを経由して接続]を選択し、[次へ]ボタンをクリックする

5 使用するプリンタポートの選択画面で、[ネットワークポートを追加]ボタンをクリックする。

5

6 共有されたネットワークプリンタを選択し、[OK]ボタンをクリックする。

ネットワーク上のサーバ名と本機のプリンタ名はサーバ管理者に確認してください。

7 使用するプリンタポートの選択画面で共有されたネットワークプリンタを確認し、本機を通常使うプリンタに設定するか選択して[次へ]ボタンをクリックする

画面の指示に従ってインストールを進めてください。

ご注意 Windows 2000/XPをお使いの場合、Windowsロゴテスト、またはデジタル署名に関する警告ウィンドウが表示されたら、必ず[続行]または[はい]ボタンをクリックしてください。

8 手順2の画面に戻るので、[閉じる]ボタンをクリックする

メモ インストール終了後、再起動を促すメッセージが表示される場合があります。このときは、[はい]ボタンをクリックしてコンピュータを再起動してください。

以上でMFPドライバのインストールは完了です。

Button Managerを登録する

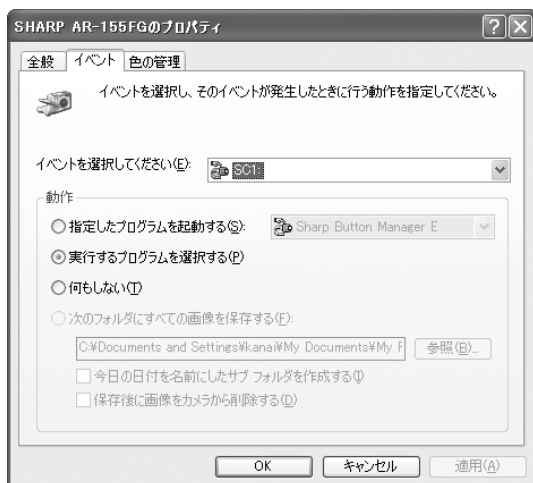
Button Managerはスキャナドライバに対応したソフトウェアで、インストールすることにより、本機の操作でスキャンすることが可能になります。
本機の操作パネルからの操作でスキャンするためには、Button Managerと本機の操作パネルに表示される宛先を関連付ける必要があります。下記手順を参照し、関連付けを登録してください。

Windows XPをお使いの場合

1 [スタート]ボタンをクリックし、[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[スキャナとカメラ]をクリックする

2 [SHARP AR-155FG]アイコンをクリックし、[ファイル]メニューから[プロパティ]を選択する

3 プロパティ画面の[イベント]タブをクリックする

4 「イベントを選択してください」のプルダウンメニューから[SC1:]を選択する

5 [指定したプログラムを起動する]を選択してプルダウンメニューから [Sharp Button Manager E]を選択する

6 [適用]ボタンをクリックする

7 手順 4 ～ 6 を繰り返し、[SC2:] から[SC6:]にButton Managerを登録する

- 「イベントを選択してください」のプルダウンメニューから[SC2:]を選択します。[指定したプログラムを起動する]を選択してメニューから[Sharp Button Manager E]を選択し、[適用]ボタンをクリックしてください。同様に[SC6:]まで行います。
- 設定が完了したら[OK]ボタンをクリックして画面を閉じます。

以上で、Button Managerが本機の宛先SC1:～SC6:に関連付けられました。

- 本機の宛先SC1:～SC6:それぞれの読み取り設定は、Button Managerの設定画面で変更できます。宛先SC1:～SC6:の初期設定と、Button Managerの設定方法については、オンラインマニュアルの「Button Managerの設定」を参照してください。

Windows 98/Me/2000をお使いの場合

1 [スタート]ボタンをクリックし、[設定]を選択して[コントロール パネル]をクリックする

2 [スキャナとカメラ] アイコンをダブルクリックする

メモ Windows Meを使用時に[スキャナとカメラ]アイコンが表示されない場合は、[すべてのコントロールパネルオプションを表示する]をクリックしてください。

3 [SHARP AR-155FG]を選択して[プロパティ]ボタンをクリックする

Windows Meをお使いの場合は、「SHARP AR-155FG」をマウスの右ボタンでクリックし、ショートカットメニューから[プロパティ]を選択します。

4 プロパティ画面の [イベント] タブをクリックする

5 「スキャナイベント」のプルダウンメニューから[SC1:]を選択する

6 「次のアプリケーションに送る」で[Sharp Button Manager E]を選択する

メモ 他のアプリケーションが表示され、チェックが付いているときは、それらのチェックをはずしてButton Managerだけを選択してください。

7 [適用]ボタンをクリックする

8 手順 5 ～ 7 を繰り返し、[SC2:] から[SC6:]にButton Managerを登録する

「スキャナ イベント」のプルダウンメニューから[SC2:]を選択します。「次のアプリケーションに送る」で[Sharp Button Manager E]を選択し、[適用]ボタンをクリックしてください。同様に[SC6]まで行います。
設定が完了したら[OK]ボタンをクリックして画面を閉じます。

以上で、Button Managerが本機の宛先SC1:～SC6:に関連付けられました。

- 本機の宛先 SC1: ～ SC6: それぞれの読み取り設定は、Button Managerの設定画面で変更できます。宛先SC1:～SC6:の初期設定と、Button Managerの設定方法については、オンラインマニュアルの「Button Managerの設定」を参照してください。

コンピュータに接続する

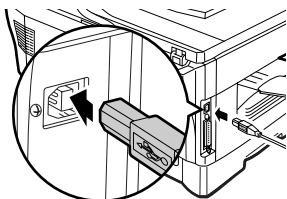
以下の手順で本機とコンピュータをインタフェースケーブルで接続してください。

USBインタフェースに接続する

ご注意

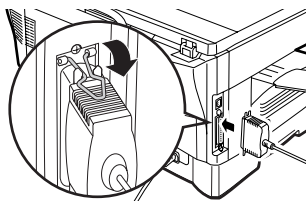
- USBは、USBインタフェース標準搭載のWindows 98、Windows Me、Windows 2000 Professional、Windows XP Professional、Windows XP Home Editionプリインストールモデルで使用できます。
- MFPドライバをインストールする前にUSBケーブルを接続しないでください。USBケーブルは、MFPドライバのインストール中に接続する必要があります。

- USB2.0インタフェースに接続する場合は、付属のUSBケーブルをご使用になるか、USB2.0対応のUSBケーブルをご用意ください。
- 本機のUSB2.0コネクターは、Microsoft社製のUSB2.0ドライバがプリインストールされているコンピュータ、もしくはMicrosoft社がWindows Update上で提供しているWindows 2000 Professional/XP用USB2.0ドライバをインストールしたコンピュータでのみ、USB2.0規格のデータ転送速度で動作します。
- USB2.0のデータ転送速度を十分に出すためには、本機のユーザープログラムで、「USB2.0モードセンタク」の設定を「ハイスピード」に変更する必要があります。くわしくは、「ユーザー設定」（55ページ）を参照してください。
- 本機の「ハイスピード」モードは、必ずWindows 2000/XPが稼動しているコンピュータでお使いください。
- USB2.0対応のPCカードをお使いの場合は、Microsoft社製のドライバであっても、ハイスピード規格の転送速度が得られない場合もあります。最新ドライバの入手などの対応については、ご購入のPCカードのメーカー等にお問い合わせください。
- お使いのコンピュータのポートがUSB1.1でも接続可能です。ただし、USB1.1の仕様に準拠します。

1 本機のUSBコネクターにケーブルを接続する

2 ケーブルのもう一方の側をコンピュータのUSBインタフェースコネクターに接続する。

パラレルインタフェースに接続する

1 IEEE1284に準拠したシールドタイプの双方向パラレルケーブルを用意する

2 本機のパラレルコネクターにケーブルを接続し、止め金をかけて固定する

3 ケーブルのもう一方の側をコンピュータのパラレルインタフェースコネクターに接続する

5

6 プリンタ／スキャナ機能

本機ではUSB2.0インタフェースとパラレルインタフェースを標準で装備しています。
USBインタフェース使用時はプリンタ機能およびスキャナ機能が使用できます。
パラレルインタフェースを使用すると、プリンタ機能が使用できます。
本機には以下のような機能が搭載されています。

- 高速データ転送機能（USB2.0インタフェース接続時）
- ROPM※ 機能

※「ROPM」とは、Rip Once Print Many処理を言います。ROPM機能は、複数ページにわたるプリントデータをメモリーに蓄えてからプリントします。複数の部数をプリントする場合、コンピュータがプリントデータを繰り返し送信する必要がなくなります。

本機をプリンタやスキャナとして使用する前に必ず「ソフトウェアのインストール」（34ページ）をお読みになり、プリンタドライバやスキャナドライバをインストールしてください。

- プリンタ／スキャナモードで使用中にトラブルが発生した場合は、オンラインマニュアルを参照してください。
- USB2.0（ハイスピードモード）で使用する場合は、必ず、下記の「USB2.0（ハイスピードモード）の動作環境について」を確認し、動作環境と本機の設定を適切な状態にしてから接続してください。
- スキャナ機能はWindows 98/Me/2000/XPをお使いで本機をUSBインタフェースで接続している場合に使用できます。Windows NT 4.0でお使いの場合や、本機をパラレルインタフェースで接続している場合はスキャナ機能は使用できません。

USB2.0（ハイスピードモード）の動作環境について

USB2.0（ハイスピードモード）で使用するためには、以下の動作環境が必要です。

- Windows XP/Windows 2000が稼動しているコンピュータであり、Microsoft社製USB2.0ドライバがプリインストールされていること。もしくは、Microsoft社がWindows Update上で提供しているWindows XP/Windows 2000用USB2.0ドライバをインストールしていること。
- 本機のユーザープログラムで「USB2.0モードセンタク」の設定を“ハイスピード”に変更していること。（58ページ）

※ Microsoft社製USB2.0ドライバをインストールしていても、お使いのUSB2.0対応拡張カードによってはHi-Speed規格の転送速度が得られない場合があります。最新ドライバの入手などの対応についてはご使用のカードメーカーにお問い合わせください。

プリンタモードで使用する

プリンタモードで使用できる用紙や用紙のセットの方法についてはコピーで使用する場合と同じです。用紙のセットについては「用紙を補給する」(16ページ)を参照してください。

- コピー中はプリントデータは本機のメモリーに保存され、コピー終了後にプリントを開始します。
- 本機が紙づまりやメンテナンスで前カバーや側面カバーを開いているとき、用紙切れ、トナー切れのときはプリントできません。
- プリンタモード中のコピー／スキャナモードの制限や、コピー／スキャナモードを使用中のプリンタモードの制限については「コピー/プリンタ/スキャナの各モードの動作について」(53ページ)を参照してください。

基本的なプリントのしかた

ここでは基本的なプリントの方法について説明しています。便利なプリンタ機能を使用するときは、オンラインマニュアルやプリンタドライバに付属のヘルプを参照してお使いください。

1 プリントする用紙がトレイにセットされていることを確認する

用紙のセット方法についてはコピーで使用する場合と同じです。「用紙を補給する」(16ページ)を参照し、使用する用紙を確認してください。

メモ 本機で設定したトレイの用紙サイズとプリンタドライバで選択する用紙サイズを必ず合わせてください。

2 プリントしたいファイルを開き、ファイルメニューから[印刷]を選択する

3 本機のプリンタドライバが選択されていることを確認し、プリンタドライバを設定する

プリンタドライバの各項目や設定方法については付属のオンラインマニュアルまたはプリンタドライバに付属しているヘルプを参照してください。

4 [印刷]や[OK]をクリックしてプリントを開始する

排紙トレイにプリントされた用紙が出てきます。

プリントジョブの削除

1 本機の操作パネルの[モード選択]キーでプリンタモードを選択し、[クリア]キー(C)または[リセット]キー(⊘)を押す

2 ディスプレイに"ジョブヲ キャンセルシマスカ?"と表示されたら、"ハイ"にチェックマークが付いていることを確認して[決定]キーを押す

スキャナモードで使用する

原稿をセットする方法はコピーで原稿をセットする方法と同じです。原稿のセットについては「基本的なコピーのとりかた」（21ページ）を参照してください。

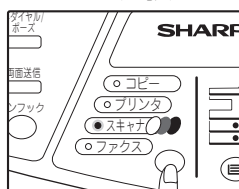
次のときはスキャナモードを使用することはできません。
- 紙づまり（用紙の紙づまりと両面原稿自動送り装置での原稿の紙づまり）
- ユーザープログラム設定中
- トレイの用紙設定中
- コピー中
- 前カバーや側面カバーが開いている状態

本機の操作でスキャンする

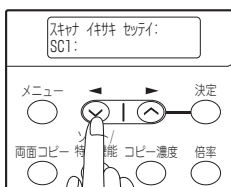
本機でスキャンを行うと、あらかじめButton Managerで設定したアプリケーションが自動的に起動し、スキャンした画像が起動したアプリケーションに貼り付けられます。

メモ
コピー設定中に[モード選択]キーを押すと、スキャナモードに切り替わり、それまで設定していたコピー設定は解除されます。

操作パネルからのスキャン

1 [モード選択] キーを押してスキャナモードを選択する

スキャナモードランプが点灯し、本機がスキャナモードになります。

2 原稿をセットする（21ページ）

3 [◄]キー（⌄）または[►] キー（⌃）でButton Managerのスキャンメニューを選択する

ここでは、スキャンした画像が貼り付けられるアプリケーションを行き先として選択します。

4 [スタート]キー（◇）を押してスキャンを開始する

原稿の読み込みが終了してもスキャナモードは解除されません。他のモードに切り替えるときは、[モード選択]キーを押してください。

Button Managerのスキャンメニュー

Button Managerの詳細な設定についてはButton Managerのヘルプを参照してください。Button Managerのメニュー名は変更することができます。（「SC1:xxxx」の “xxxx” の部分を変更できます。）オンラインマニュアルを参照してください。

コンピュータからスキャンする

本機はTWAINの規格に準拠しており、TWAIN対応のアプリケーションからスキャンを行うことができます。またWIA（Windows Image Acquisition）の規格に対応しているので、Windows XPにある〔スキャナとカメラウィザード〕からスキャンすることもできます。TWAINやWIAのスキャン方法についてはオンラインマニュアルに記述していますので、そちらを参照してください。TWAINやWIAの詳細な設定についてはスキャナドライバに付属のヘルプやWindowsのヘルプを参照してください。

コピー /プリンタ/スキャナの各モードの動作について

本機をプリンタモードで使用しているとき、またコピーモードやスキャナモードで使用しているときに、同時に動作しない場合があります。

各モード		コピー	プリンタ出力	コンピュータからのスキャン	本機からのスキャン
コピー	コピーキー入力中	可能	可能	可能	不可
	コピー中	不可	不可	不可	不可
プリンタ	プリント中	可能※1	不可	可能※3	可能※3
スキャナ	スキャンプレビュー中／スキャン中	不可	可能※2	不可	不可

※1 両面プリント中は、プリントジョブが完了したあとに、コピーが始まります。
※2 スキャン実行中にプリントすることは可能です。パラレルケーブル接続でのプリントは、スキャンが完了してから始まります。
※3 パラレルケーブル接続での両面プリント実行中は、プリントが完了してからスキャンが始まります。

ファクスモードで同時に行うことができない作業については取扱説明書（ファクス編）を参照してください。

6

オンラインマニュアルの読みかた

オンラインマニュアルには、本機をプリンタまたはスキャナとしてお使いになるための使用方法などが記載されています。
オンラインマニュアルを参照するには、Acrobat Reader（バージョン5.0以上）がコンピュータにインストールされている必要があります。インストールされていない場合は「Acrobat Readerをインストールする」を参照してください。

1 コンピュータを起動する

2 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入する

3 [スタート]ボタンをクリックして[マイコンピュータ]（ ）をクリックし、[CD-ROMアイコン]（ ）をダブルクリックする

Windows 98/Me/NT 4.0/2000をお使いの場合は、[マイコンピュータ]をダブルクリックし、[CD-ROM]アイコンをダブルクリックします。

4 [Manual] フォルダをダブルクリックし、[AR_155FG.pdf]をダブルクリックする

オンラインマニュアルが表示されます。

Start をクリックしてオンラインマニュアルをお読みください。
オンラインマニュアルを閉じるときは、画面の右上にある ボタンをクリックします。

- オンラインマニュアルは、Acrobat Readerからプリントできます。くり返し参照する項目は、印刷してお手元に置かれることをお勧めします。
- Acrobat Readerの機能・操作については、Acrobat Readerのヘルプを参照してください。

Acrobat Readerをインストールする

1 コンピュータを起動する

2 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入する

3 [スタート]ボタンをクリックして[マイコンピュータ]（ ）をクリックし、[CD-ROMアイコン]（ ）をダブルクリックする

Windows 98/Me/NT 4.0/2000をお使いの場合は、[マイコンピュータ]をダブルクリックし、[CD-ROM]アイコンをダブルクリックします。

4 [Acrobat]フォルダをダブルクリックし、「ar500jpn.exe」をダブルクリックする

画面の指示に従ってAcrobat Readerをインストールしてください。

7 ユーザー設定

使用状況に応じて、工場出荷時に設定されているユーザープログラムを変更することができます。

ユーザープログラム項目

ユーザープログラムは以下の項目で構成されています。
ユーザープログラムの設定を変更するときは、「ユーザープログラムの設定方法」（59ページ）を参照してください。

ファクスモードのユーザープログラムについては、取扱説明書（ファクス編）を参照してください。

コピーモード

プログラム番号	プログラム名	設定コード（太字が工場出荷時）	説明
1	オートクリアモード	1: 10ビョウ 2: 30ビョウ **3: 60ビョウ** 4: 90ビョウ 5: 120ビョウ 6: オフ	• 前回のコピー終了後このプログラムで設定した時間、放置した状態が続くとオートクリアがはたらき、コピーモードの標準状態（14ページ）に戻ります。 • 標準状態に戻るまでの経過時間を設定できます。この機能を解除することもできます。
2	ヨネツモード	**1: 30ビョウ** 2: 1プン 3: 5フン 4: 30プン 5: 60プン 6: 120プン 7: 240プン	電源を入れたままの状態で何も操作せずに設定された時間が経過すると、自動的に低消費電力状態にする機能です。予熱ランプが点灯しますが、操作パネルの入力は可能です。操作パネルの入力、原稿のセットなどの操作、また、プリントデータやファクスデータの受信によって自動的に解除されます。
3	オートパワーシャットオフ	**1: オン** 2: オフ	オートパワーシャットオフ機能の設定を解除することができます。
4	オートシャットオフジカン	**1: 5フン** 2: 30プン 3: 60プン 4: 120プン 5: 240プン	電源を入れたままの状態で何も操作せずに設定された時間が経過すると、自動的に予熱モード状態よりもさらに低消費電力状態にする機能です。予熱ランプ以外のランプが消灯します。解除するためには[スタート]キー（◎）を押してください。また、プリントデータやファクスデータの受信、コンピュータからのスキャンによって自動的に解除されます。オートパワーシャットオフモードが解除されるまで[スタート]キー（◎）以外の操作パネルの入力はできません。

プログラム番号	プログラム名	設定コード（太字が工場出荷時）	説明
5	ストリームフィーディングモード	**1: オン** 2: オフ	両面原稿自動送り装置を使用してコピーする際、前の原稿を読み込んだあとディスプレイに“ツヅケテ ゲンコウセットデ ジドウテキニ スタートシマス”と表示され、原稿送りランプが点滅しているあいだ（約5秒間）に次の原稿をセットすると原稿が自動的に送り込まれる機能です。
6	2IN1セッテイ	**1: タイプ1** 2: タイプ2	2ページ分の画像を1枚の用紙に割り付けしてコピーする際のレイアウトタイプを設定することができます。（レイアウトタイプは31ページを参照してください。）
7	オフセットキノウ	**1: オン** 2: オフ	この機能が設定されていると、排紙位置をずらしてコピーすることができます。また、プリンタ機能ではプリンタのジョブごとに排紙位置がずれてプリントされます。
8	ガゾウカイテン	1: オン **2: オフ**	この機能は、両面コピーする際に原稿裏面の画像を180°回転させてコピーする機能です。縦綴じ（タブレット形式）でコピーするときに便利な機能です。
9	カイゾウド	**1: 300dpi** 2: 600dpi	自動・文字モードでの原稿読み取り解像度を600 x 300dpiから600 x 600dpi（高画質モード）に変更するときに使用します。高画質モードに設定すると原稿の読み込み速度は遅くなります。
10	リョウメンコピーモード	**1: ハイスピード** 2: ノーマル	両面コピーを行ったときにメモリーがいっぱいになった場合でも、“ノーマル”を選択しているとコピーすることが可能です。“ノーマル”を選択すると、コピースピードは遅くなります。通常は“ハイスピード”を選択してください。
11	トジシロノ　ハバセッテイ	1: 5ミリ **2: 10ミリ** 3: 15ミリ 4: 20ミリ	とじしろの幅を設定します。
12	プリンタノ　メモリーワリアテ	1: 30% 2: 40% **3: 50%** 4: 60% 5: 70%	プリンタモードで使用する本機のメモリーの割合を変更するときに使用します。
13	キーリピート	**1: オン** 2: オフ	押し続けると設定値が連続的に増減するキー（例：[◀] キー（⌄）または[▶] キー（⌃））に対して、押し続けても設定値が連続的に増減しないように設定する機能です。
14	キーウケツケジカン	**1: フツウ** 2: 0.5ビョウ 3: 1.0ビョウ 4: 1.5ビョウ 5: 2.0ビョウ	キーの入力の反応時間を長くすることで、誤入力した場合でも設定がすぐに反映されないようにする機能です。

プログラム番号	プログラム名	設定コード（太字が工場出荷時）	説明
15	キータッチオン	**1: ヒクイ** 2: タカイ 3: オフ	報知音の音量を設定する機能です。（59ページ）
16	キジュンチノ キータッチオン	1: オン **2: オフ**	基準値（59ページ）の音を鳴らすときに使用します。
17	トナーセーブ モード	1: オン **2: オフ**	このモードを設定することにより、トナーの消費量を通常より約10%抑えてコピーすることができます。コピー濃度の設定が“ジドウ”または“モジ”に設定されている場合に効果的です。
18	ノウドチョウセイ	1: ゲンコウオクリソウチ 2: ゲンコウダイ	• コピー濃度を調節するのに使用します。 • 原稿台（ガラス面）と両面原稿自動送り装置のそれぞれの自動濃度レベルを設定できます。 • 工場出荷時の濃度レベルは中央値に設定されています。
19	ヒョウジゲンゴ	1：ニホンゴ	ディスプレイの表示言語を設定します。 ただし選択できる言語は日本語のみです。
20	キカイノショキカ	1: ハイ **2: イイエ**	すべての設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。
21	ソートジドウセンタク	**1: オン** 2: オフ	ソート自動選択を設定、解除できます。

7

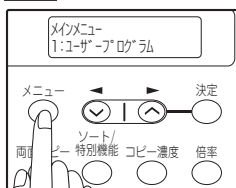
プリンタモード

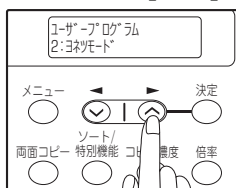
プログラム番号	プログラム名	設定コード（太字が工場出荷時）	説明
1	キョウセイインジセッテイ	1: オン **2: オフ**	プリンタモードで本機を使用するときにプリントサイズに合う用紙が本機にセットされていない場合に、強制的に異なるサイズの用紙を選択してプリントを行う機能です。コピーモードでは使用できません。
2	USB2.0モードセンタク※1	**1: フルスピード** 2: ハイスピード	USB2.0のデータ転送速度を設定します。USB2.0インタフェースと接続してより高速な転送速度を実現するためには、まず、コンピュータの動作環境（OS・ドライバ）が適切であるかを確認したうえで、このプログラムでモードの設定を“ハイスピード”に変更してください。設定の変更は、TWAINドライバ起動中には行わないでください。（動作環境は、「USB2.0（ハイスピードモード）の動作環境について」（50ページ）を参照してください。）
3	トレイ ジドウキリカエ※2	**1: オン** 2: オフ	出力中に用紙がなくなったとき、他のトレイに同じサイズで同じ方向の用紙がセットされていれば、自動的にトレイの切り替えを行う機能です。（ただし、手差しトレイは除きます。）この機能を解除することもできます。

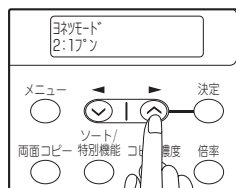
※1「ハイスピードモード」では、主に、スキャンデータの転送速度がより高速となります。プリント速度はそれほど上がりません。

※2 1段給紙ユニット装着時

ユーザープログラムの設定方法

1 [メニュー]キーを押し、[決定]キーを押す

プリンタモードでは、[メニュー]キーを押すだけでユーザープログラムにアクセスできます。

2 [◄]キー（⌄）または[►]キー（⌃）で設定したいユーザープログラム項目を選択し、[決定]キーを押す

- プログラム名やプログラム番号については、「ユーザープログラム項目」（55〜58ページ）を参照してください。
- プログラム番号を数字キーで直接入力してプログラムを選択することもできます。

3 [◄]キー（⌄）または[►]キー（⌃）で選択した項目の設定を変更する

メモ
- 選択する項目をまちがえたときは、[クリア]キー（C）を押したあと、手順2から行ってください。
- ユーザープログラムの設定を取り消す場合は[メニュー]キーを押してください。

4 [決定]キーを押す

選択した設定項目が表示され、1つ前の画面に戻ります。

ユーザープログラムで“ノウドチョウセイ”を選択し、[決定]キーを押すと自動濃度調整画面が表示されます。濃度を調整し、[決定]キーを押してください。

7

報知音（入力音/無効音/基準値音）について

本機ではキーを入力したときになる音（入力音）、設定中に使用できないキーを押したときになる音（無効音）、設定中に基準値（下記参照）に達したときになる音（基準値音）の3つの音（報知音）が鳴るように設定することができます。報知音のうち、基準値音は鳴らないように設定されていますが、ユーザープログラムで基準値音が鳴るように設定できます。（57ページの「キジュンチノ キータッチオン」参照）また、報知音の音量を変えたり鳴らないように設定することもできます。（57ページの「キータッチオン」参照）それぞれ次のように音がなります。

入力音：「ピィ」と1回音が鳴ります。
無効音：「ピィピィ」と2回音が鳴ります。
基準値音：「ピィピィピィ」と3回音が鳴ります。

基準値について

基準値とは本機であらかじめ設定されている各設定項目の基準となる設定値のことです。基準値は次のとおりです。

倍率：100%、**トレイ位置**：トレイ1（1段目のトレイ）
濃度調整レベル：中央値、**画質（ジドウ/モジ/シャシン）**：ジドウ

8 こんなときは

ここでは本機の機能全般やコピー機能、ソフトウェアのインストールに関するトラブルが発生したときの対処方法を説明しています。次のような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。
それでも具合の悪いときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、(81ページ)の「アフターサービスについて」をお読みください。

メモ　プリンタ、ファクス、スキャナの各機能のトラブルについては各取扱説明書を参照してください。

こんな表示が出たら

以下の操作パネルのランプが点灯または点滅したり、ディスプレイにメッセージが表示されたときは、次の表と参照ページをご覧のうえ、すみやかに処置をおこなってください。

表示			原因と対処	ページ
ランプ表示		ディスプレイ		
トレイ位置ランプ	点滅	ﾃｻﾞｼﾄﾚｲﾆ ﾖｳｼｦ ﾎｷｭｳｸﾀﾞｻｲ ｽﾀｰﾄﾃﾞｻｲｶｲ	トレイが開いているか、正しく閉じられていません。または、トレイの用紙がなくなっています。(<*>にはトレイの番号が表示されます。)	17
		ﾄﾚｲ<*>ﾆ ﾖｳｼｦ ﾎｷｭｳｸﾀﾞｻｲ ｽﾀｰﾄﾃﾞｻｲｶｲ		
		ﾄﾚｲ<*>ｦ ﾄｼﾞﾃｸﾀﾞｻｲ		
エラーランプ	点滅	ｼﾞｬﾑﾖｳｼｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	紙づまりが発生しています。 「つまった紙を取り除く」を参照して、つまった紙を取り除いてください。	68
		ｹﾞﾝｺｳｵｸﾘｿｳﾁｦ ｶｸﾆﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ		
		ﾎﾝﾀｲﾉﾏｴｶﾊﾞｰ ﾏﾀﾊ ﾖｺｶﾊﾞｰｦ ﾄｼﾞﾃｸﾀﾞｻｲ	本機のカバーが開いています。カバーを閉じてください。	-
		ｹﾞﾝｺｳｵｸﾘｿｳﾁﾉ ｶﾊﾞｰｦ ﾄｼﾞﾃｸﾀﾞｻｲ	両面原稿自動送り装置のカバーが開いています。カバーを閉じてください。	71
		ｹﾞﾝｿﾞｳｶｰﾄﾘｯｼﾞｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ	トナーがなくなっています。現像カートリッジを新しいものに交換してください。	73
		ｼｽﾃﾑｴﾗｰﾃﾞｽﾞ[XX-XX] ﾏﾆｭｱﾙｦ ｵﾖﾐｸﾀﾞｻｲ	[L1-00]と表示されたときは、スキャンヘッドロックスイッチがロックされています。本機の電源を切り、スキャンヘッドロックスイッチを解除してから電源を入れ直してください。	72
			本機が機能していません。電源を入れなおしてください。電源を入れ直してもエラーが解除されない場合は、メインコード2桁、サブコード2桁([XX-XX])を控えたうえ、電源を切り、すみやかにお買いあげの販売店にご連絡ください。	-
		ｹﾞﾝｿﾞｳｶｰﾄﾘｯｼﾞｦ ｿｳﾁｬｸｼﾃｸﾀﾞｻｲ	現像カートリッジが確実にセットされていません。現像カートリッジをセットしなおしてください。	73

<table>
<tr><th colspan="3">表示</th><th rowspan="2">原因と対処</th><th rowspan="2">ページ</th></tr>
<tr><th colspan="2">ランプ表示</th><th>ディスプレイ</th></tr>
<tr><td rowspan="4">エラーランプ</td><td>点滅</td><td>ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾉｼﾞｷﾃﾞｽ
ﾊﾝﾊﾞｲﾃﾝﾆ ﾚﾝﾗｸｼﾃｸﾀﾞｻｲ</td><td>メンテナンス（保守点検）の実施時期がきています。お買いあげの販売店にご連絡ください。</td><td>-</td></tr>
<tr><td rowspan="3">点灯</td><td>ﾄﾅｰｶﾞ ﾉｺﾘﾜｽﾞｶﾃﾞｽ</td><td>トナーが少なくなってます。新しい現像カートリッジを準備してください。お買い上げの販売店にお問い合わせください。</td><td>-</td></tr>
<tr><td>ﾓｳｽｸﾞﾒﾝﾃﾅﾝｽﾉｼﾞｷﾃﾞｽ</td><td>メンテナンスの実施時期がきています。お買いあげの販売店にご連絡ください。</td><td>-</td></tr>
<tr><td>ﾐﾆﾒﾝﾃﾅﾝｽﾉｼﾞｷﾃﾞｽ
ﾊﾝﾊﾞｲﾃﾝﾆ ﾚﾝﾗｸｼﾃｸﾀﾞｻｲ</td><td>メンテナンス（保守点検）の実施時期がきています。お買いあげの販売店にご連絡ください。
※表示後は、1枚ずつのコピーとなります。</td><td>-</td></tr>
<tr><td colspan="3">ﾒﾓﾘｰｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ
ｽﾀｰﾄｷｰﾃﾞ ﾌｯｷｼﾏｽ</td><td>データでメモリーがいっぱいになっています。データを出力するか、データを消去してください。</td><td>30</td></tr>
<tr><td colspan="3">ﾃｻﾞｼﾄﾚｲｶﾗ
ﾘｮｳﾒﾝｺﾋﾟｰﾊ ﾃﾞｷﾏｾﾝ</td><td rowspan="2">手差しトレイから両面プリントまたは2in1コピーすることはできません。[トレイ選択]キー（）を押して手差しトレイ以外のトレイを選択してください。</td><td rowspan="2">26
31</td></tr>
<tr><td colspan="3">ﾃｻﾞｼﾄﾚｲｶﾗ
2IN1ｺﾋﾟｰﾊ ﾃﾞｷﾏｾﾝ</td></tr>
<tr><td colspan="3">2IN1ﾄ ﾄｼﾞｼﾛｾｯﾃｲﾉ
ｸﾐｱﾜｾﾊ ﾃﾞｷﾏｾﾝ</td><td>2in1コピーととじしろ機能は同時に設定できません。どちらかの機能のみを設定してください。</td><td>31
33</td></tr>
<tr><td colspan="3">2IN1 ｾｯﾃｲｼﾞﾊ
ﾊﾞｲﾘﾂﾍﾝｺｳ ﾃﾞｷﾏｾﾝ</td><td>2IN1コピーでは、コピー倍率は変更できません。</td><td>25
31</td></tr>
<tr><td colspan="3">ﾃﾞｰﾀﾎｼﾞ中ﾃﾞｽ
ｾｯﾃｲﾃﾞｷﾏｾﾝ</td><td>プリントジョブ実行中にユーザープログラムを変更しようとしています。プリントジョブが完了してからユーザープログラムを変更してください。</td><td>55</td></tr>
<tr><td colspan="3">xxxxxｻｲｽﾞｶﾞｱﾘﾏｾﾝ
[ｽﾀｰﾄ]: ﾃｻﾞｼ出力</td><td>プリントに使用する用紙がなくなっています。[モード選択]キーを押してプリンタモードに切り替え、ディスプレイの指示にしたがってください。（「xxxx」には用紙サイズが表示されます。）</td><td>-</td></tr>
<tr><td colspan="3" rowspan="2">ｹﾞﾝｺｳｵｸﾘｿｳﾁｦ ｶｸﾆﾝｺﾞ
ｽﾀｰﾄｷｰｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ</td><td>原稿がまだ原稿台（ガラス面）に残っているか、原稿が厚すぎて読み取ることができません。原稿を取り除いてください。</td><td>22</td></tr>
<tr><td>原稿台（ガラス面）から原稿を取り除いてもメッセージが消えない場合は、両面原稿自動送り装置の裏側が汚れている可能性があります。両面原稿自動送り装置の裏側（特に黒い筋が現れる場所）を清掃してください。</td><td>76</td></tr>
<tr><td colspan="3">ﾄﾚｲ<*>ﾆ*****ｻｲｽﾞ
ﾖｳｼｦ ｾｯﾄｸﾀﾞｻｲ</td><td>トレイにセットされた用紙サイズと異なる用紙サイズを設定したときはプリントできません。設定したサイズと同じサイズの用紙をセットして[スタート]キー（）を押すと、プリントが開始されます。（「*****」には用紙サイズが、<*>にはトレイの番号が表示されます。）</td><td>17</td></tr>
<tr><td colspan="3">PCﾆ ｾﾂｿﾞｸ ｻﾚﾃｲﾏｾﾝ
ｹｰﾌﾞﾙｦ ｶｸﾆﾝｸﾀﾞｻｲ</td><td>本機とコンピュータが正しく接続されていません。ケーブルの接続を確認してください。（スキャナ機能使用時）</td><td>49</td></tr>
</table>

故障かな？と思ったら

本機／コピーのトラブル

ここでは本機全体やコピーに関するトラブルについて説明しています。

こんなとき	原因と対処	ページ
動作しない	**電源コードが接続されていない** →電源コードプラグを電源コンセントに挿入してください。	-
	電源スイッチが入っていない →電源スイッチを入れてください。	14
	予熱ランプが点滅している →本機がウォームアップ中であることを示しています。 ウォームアップが完了するまではコピーはできません。	-
	前カバーや側面カバーがきちんと閉じていない →前カバーや側面カバーを閉めてください。	-
	オートパワーシャットオフモードになっている →オートパワーシャットオフモードになっているときは、予熱ランプ以外のランプはすべて消灯しています。[スタート]キー（ ）を押すとオートパワーシャットオフモードは解除されます。	15
	スキャンヘッドロックスイッチがロックされている →スキャンヘッドロックスイッチを解除してください。	72
最初の一枚だけプリントされて止まってしまう	**本機で設定した用紙サイズがセットした用紙のサイズと合っていない** →「トレイの用紙設定を変更する」を参照して、セットした用紙のサイズと同じサイズの用紙をセットしてください。	20
画像が薄いまたは濃い	**セットした原稿の種類に応じた適切な画質選択をしていない** →[コピー濃度] キーで“ジドウ”に切り替えるか、[◄]キー（ ）または[►]キー（ ）を押して手動で適切な濃度を設定してください。	24
	→[コピー濃度]キーで“ジドウ”を選択しているのに、画像が薄いまたは濃い場合は自動濃度レベルを調整してください。	57
コピーが白紙になる	**原稿のセットする面をまちがえている** →原稿台（ガラス面）をお使いの場合はコピーする面を下向きに、両面原稿自動送り装置をお使いの場合はコピーする面を上向きにそれぞれセットしてください。	21、22
原稿の画像の一部が欠ける コピーに余白ができる	**原稿のセット位置をまちがえている** →原稿を正しくセットしてください。	21、22
	原稿と用紙サイズの組み合わせに適した倍率が設定されていない →[倍率]キーを押してコピー倍率の設定を原稿と用紙に合うように設定してください。	25
	用紙を補給する際、トレイの用紙サイズを変更したにもかかわらず、トレイの用紙サイズの設定を変更しなかった →トレイに補給した用紙のサイズとトレイの用紙サイズ設定が異なっています。トレイの用紙サイズ設定で必ずセットした用紙と同じサイズを設定してください。	20

こんなとき	原因と対処	ページ
コピーをすると、紙にシワがよったり、画像が消えたりする	**規定範囲外のサイズ、および重さの用紙を使用している** → 規定の用紙を使用してください。	16
	用紙が反ったり、湿ったりしている → カールしたり、折れ曲がっている用紙は使用しないでください。用紙を取り替えてください。長期間使用しない場合は、トレイから用紙を取り出し、吸湿しないように袋に入れて暗所に保管してください。	-
コピーにしみや汚れがある	**原稿台（ガラス面）や両面原稿自動送り装置の裏面が汚れている** → 定期的に清掃してください。	76
	原稿にしみや汚れがある → 汚れていない原稿を使用してください。	-
紙がつまる	**紙づまりを起こしている** → 紙づまりの対処は「つまった紙を取り除く」を参照してください。	68
	規定範囲外のサイズ、および厚さの用紙を使用している → 規定の用紙を使用してください。	16
	用紙が反ったり、湿ったりしている → カールしたり、折れ曲がっている用紙は使用しないでください。用紙を取り替えてください。長期間使用しない場合は、トレイから用紙を取り出し、吸湿しないように袋に入れて暗所に保管してください。	-
	用紙が正しくセットされていない → 用紙を正しくセットしなおしてください。	17
	内部に用紙の破片が残っている → 残っている用紙を完全に取り除いてください。	69
	トレイ内の用紙枚数が上限を超えている → セットした用紙がトレイにある指示線を超えている場合は、指示線以内に収まるように用紙をセットし直してください。	17
	用紙が何枚か重なって出る → よく用紙をさばいてからセットしてください。	-
	手差しトレイのガイドが用紙と合っていない → 手差しトレイのガイドを用紙の幅の位置に合わせてください。	19
	手差しトレイの補助トレイが引き出されていない → 大きなサイズの用紙をセットするときは、補助トレイを引き出してください。	19
コピーに白や黒いスジが写る	**両面原稿自動送り装置使用時の原稿読み取り部分が汚れている** → 細長いガラス面部分を清掃してください。	76
	転写チャージャーが汚れている → 転写チャージャーを清掃してください。	77
トレイの用紙サイズが設定できない	**コピーの実行中またはプリント中である** → 出力終了後、用紙サイズを設定してください。	-
	用紙切れや紙づまりによる一時停止中である → 用紙の補給または紙づまりの処置が終わってから用紙サイズを設定してください。	17、20、68

こんなとき	原因と対処	ページ
コピーが途中で止まる	**ディスプレイに“メモリーガ イッパイデス スタートキーデ フッキシマス”と表示される** → ソートコピー中にメモリーがいっぱいになっています。それまで読み込んだデータをコピーするか、作業をキャンセルしてメモリー内にあるデータを消去してください	30
	用紙切れを起こしている → 用紙を補給してください。	17
予熱ランプが点灯している	**予熱ランプ以外のランプが点灯している** → 予熱ランプ以外のランプが点灯しているときは本機が予熱モードの状態になっています。操作パネルのいずれかのキーを押して解除してください。	15
	予熱ランプのみが点灯している → 予熱ランプのみが点灯しているときは本機がオートパワーシャットオフモードの状態になっています。[スタート]キー（◇）を押すとオートパワーシャットオフモードは解除されます。	15
エラーランプ（⚠）が点灯または点滅している	**「こんな表示が出たら」を参照してエラーランプとディスプレイのエラーメッセージを確認し、すみやかに対処法に従ってください。**	60
照明器具にチラツキが生じる	**本機の電源プラグを照明器具と共通回路の電源コンセントに差し込んでいる** → 照明器具とは別の専用の電源コンセントに本機の電源プラグを差し込んでください。	-

ソフトウェアセットアップ中のトラブル

ソフトウェアが正しくインストールできないときは、下記項目を参照してお使いのコンピュータをチェックしてください。
ソフトウェアの削除方法については、「ソフトウェアを削除する」(67ページ) を参照してください。

MFPドライバがインストールできない（Windows 2000/XPをお使いのとき）

Windows 2000/XPをお使いのときにMFPドライバがインストールできない場合は、下記手順に従ってコンピュータの設定を確かめてください。

1 [スタート] ボタンをクリックし、[コントロール パネル]をクリックする

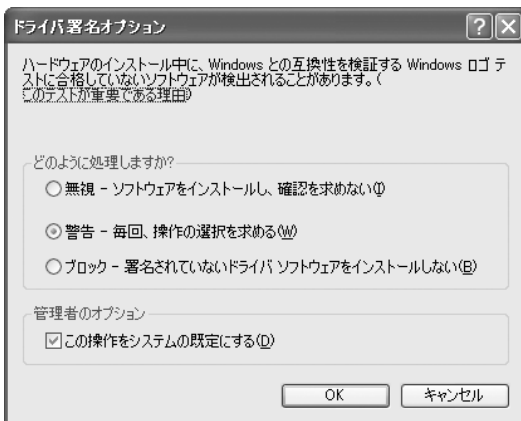
Windows 2000をお使いの場合は、[スタート] ボタンをクリックして[設定]を選択し、[コントロール パネル]をクリックします。

2 [パフォーマンスとメンテナンス]をクリックし、[システム]をクリックする

Windows 2000をお使いの場合は、[システム] アイコンをダブルクリックします。

3 [ハードウェア] タブをクリックし、[ドライバの署名]ボタンをクリックする

4 「どのように処理しますか？」(Windows 2000の場合は「ファイルの署名の確認」) の設定を確認する

お使いのコンピュータで[ブロック]が選択されている場合、MFPドライバはインストールできません。[警告]を選択し、「ソフトウェアのインストール」(34ページ) を参照してMFPドライバをもう一度インストールしてください。

プラグアンドプレイ画面が表示されない（USB接続時）

本機とコンピュータをUSBケーブルで接続して本機の電源を入れたときに、プラグアンドプレイ画面が現れなかった場合は、下記手順に従ってUSBポートが使用可能か確認してください。

1 **[スタート]ボタンをクリックして[コントロール パネル]をクリックし、[パフォーマンスとメンテナンス]をクリックする**

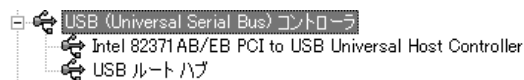
Windows 98/Me/2000をお使いの場合は、[スタート]ボタンをクリックして[設定]を選択し、[コントロール パネル]をクリックします。

2 **[システム]をクリックして[ハードウェア]タブをクリックし、[デバイス マネージャ]ボタンをクリックする**

一覧に「USB（Universal Serial Bus）コントローラ」が表示されます。

メモ
- Windows 98/Meをお使いの場合は、[システム]アイコンをダブルクリックし、[デバイス マネージャ]タブをクリックします。
- Windows 2000をお使いの場合は、[システム]アイコンをダブルクリックして[ハードウェア]タブをクリックし、[デバイス マネージャ]ボタンをクリックします。
- Windows Meを使用時に[システム]アイコンが表示されない場合は、[すべてのコントロールパネルオプションを表示する]をクリックしてください。

3 **USB（Universal Serial Bus）コントローラ」の隣にある(⊞)アイコンをクリックする**

USB (Universal Serial Bus) コントローラ
Intel 82371AB/EB PCI to USB Universal Host Controller
USB ルート ハブ

USBホストコントローラとUSBルートハブの2項目が表示されます。これらが表示されていればUSBは使用可能なはずですが、「USB（Universal Serial Bus）コントローラ」に黄色の感嘆符がついていたり、上記の2項目が表示されない場合は、コンピュータに付属のマニュアルを参照するか、コンピュータの製造元に問い合わせて、USBを使用可能な状態にしてください。

4 **USBポートが使用可能な状態になったことを確認し、「ソフトウェアのインストール」（34ページ）を参照してMFPドライバをインストールする**

プラグアンドプレイでMFPドライバが正しくインストールできない（Windows 2000/XP）

Windows 2000/XPをお使いの場合、インストーラからMFPドライバのインストールに必要なファイルをコピーせずにプラグアンドプレイを行った場合など、MFPドライバが正しくインストールできなかったときは、次の手順で不要なデバイスを削除し、「ソフトウェアのインストール」（34ページ）を参照してMFPドライバを正しくインストールし直してください。

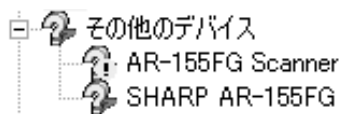
1 **[スタート]ボタンをクリックして[コントロール パネル]をクリックし、[パフォーマンスとメンテナンス]をクリックする**

Windows 2000をお使いの場合は、[スタート]ボタンをクリックして[設定]を選択し、[コントロール パネル]をクリックします。

2 **[システム]をクリックして[ハードウェア]タブをクリックし、[デバイス マネージャ]ボタンをクリックする**

メモ　Windows 2000をお使いの場合は、[システム]アイコンをダブルクリックして[ハードウェア]タブをクリックし、[デバイス マネージャ]ボタンをクリックします。

3 **「その他のデバイス」の隣にある（⊞）アイコンをクリックする**

その他のデバイス
AR-155FG Scanner
SHARP AR-155FG

「AR-155FG Scanner」と「SHARP AR-155FG」が表示された場合は、それぞれを選択して削除してください。

メモ　「その他のデバイス」が表示されない場合は、デバイス マネージャを終了させてください。

4 **「ソフトウェアのインストール」（34ページ）を参照してMFPドライバをインストールする**

他のプリンタによってパラレルポートが使用されているときは（パラレル接続時）

本機以外にパラレル接続で使用しているプリンタがある場合に、本機で正常にプリントができないときは、下記手順で本機以外のプリンタドライバのポート設定を変更し、本機のプリンタドライバのポートが「LPT1」に設定されているか確認してください。

1 **[スタート] ボタンをクリックし、[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[プリンタとFAX] をクリックする**

Windows 98/Me/NT 4.0/2000をお使いの場合は、[スタート]ボタンをクリックして[設定]を選択し、[プリンタ]をクリックします。

2 **ポートを変更するプリンタのアイコンをクリックし、[ファイル]メニューから[プロパティ]を選択する**

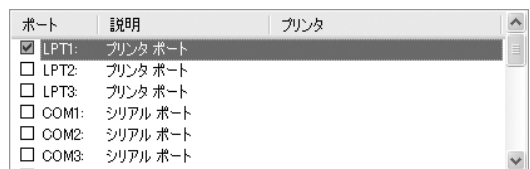
3 **[ポート]（Windows 98/Meは[詳細]）タブをクリックする**

4 **「印刷先のポート」一覧から[FILE:]を選択して[OK]ボタンをクリックする**

5 **[SHARP AR-155FG] アイコンをクリックし、[ファイル]メニューから[プロパティ]を選択する**

6 **[ポート]（Windows 98/Meは[詳細]）タブをクリックする**

7 **「印刷先のポート」一覧から [LPT1] を選択して[OK]ボタンをクリックする**

メモ

他のプリンタを再び使用するときは、同様の操作で本機のポートを[FILE:]に設定し、使用するプリンタのポートを[LPT 1]など元の設定に戻してください。

8

ソフトウェアを削除する

ソフトウェアを削除するするときは次の手順を行ってください。

1 **[スタート] ボタンをクリックし、[コントロールパネル]をクリックする**

Windows 98/Me/NT 4.0/2000をお使いの場合は、[スタート]ボタンをクリックして[設定]を選択し、[コントロール パネル]をクリックします。

2 **[プログラムの追加と削除] をクリックする**

Windows 98/Me/NT 4.0/2000をお使いの場合は、[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックします。

3 **リストから[SHARP AR-155FG MFP Driver]と[Sharp Button Manager E]を選択して削除する**

詳しくは、お使いのOSの取扱説明書またはヘルプを参照してください。

つまった紙を取り除く

紙づまりが起こるとエラーランプが点滅し、ディスプレイに“ジャムヨウシヲトリノゾイテクダサイ”と表示されてコピーやプリントを中断します。両面原稿自動送り装置を使用しているときに紙づまりが起こったときは、ディスプレイに“ゲンコウヲXマイモドシテカラ〔スタート〕ヲオシテクダサイ”と表示されます。(「X」には戻す原稿の枚数が表示されます。)つまった紙を取り除いたあとで、表示された枚数を原稿セット台にセットし直してください。この表示は、コピーが再開されるか、〔クリア〕キー(C)を押したときに解除されます。
両面原稿自動送り装置で原稿づまりが起こった場合は、本機は自動的に停止してエラーランプが点滅します。両面原稿自動送り装置からつまった紙を取り除くときは、「D 両面原稿自動送り装置での原稿づまり」(71ページ)を参照してください。

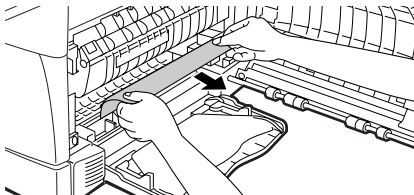
1 手差しトレイを開き、側面カバーを開く

2 どの場所で紙づまりが発生しているか確認する

次の発生場所を示すイラストの指示に従って紙づまりを取り除いてください。
エラーランプが点滅している場合は、「A 給紙部につまっている場合」(69ページ)に進んでください。

A 給紙部につまっている場合

1 図のように給紙部から静かに紙を取り出す

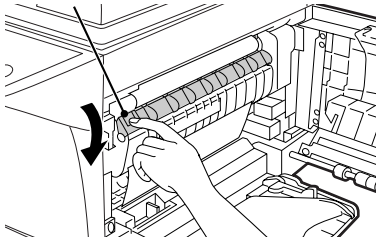
エラーランプが点滅していて、給紙部からつまった紙が見えていない場合は、給紙トレイを引き出してつまった紙を取り除きます。このとき紙が取れない場合は、「B 定着部につまっている場合」へ進んでください。

⚠注 意 **定着部は高温になっています。紙づまりを取り除くときは、定着部に触れないでください。やけどやけがの原因となることがあります。**

メモ
- 紙を取り出すときに、感光体ドラム（緑色の部分）には触れないでください。ドラムに傷がつき、コピー汚れの原因となります。
- 手差しトレイから給紙した場合は、手差しトレイ側から紙を取り出さないでください。定着していないトナーで給紙通路が汚れ、コピー汚れの原因となります。

2 側面カバー開閉ボタン右横の球形突起部を押して側面カバーを閉じる

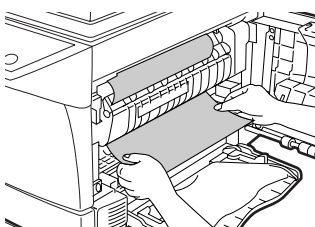
エラーランプが消灯し、スタートランプが点灯します。

B 定着部につまっている場合

1 定着部解放レバーを下げる

2 図のように定着部の下から静かに紙を取り出す

このとき紙が取れない場合は、「C 搬送部につまっている場合」（70ページ）へ進んでください。

⚠注 意 **定着部は高温になっています。紙づまりを取り除くときは、定着部に触れないでください。やけどやけがの原因となることがあります。**

メモ
- 紙を取り出すときに、感光体ドラム（緑色の部分）には触れないでください。ドラムに傷がつき、コピー汚れの原因となります。
- 定着部の上から紙を取り出さないでください。定着していないトナーで給紙通路が汚れ、コピー汚れの原因となります。

3 定着部解放レバーを上げてから、側面カバー開閉ボタン右横の球形突起部を押して側面カバーを閉じる

エラーランプが消灯し、スタートランプが点灯します。

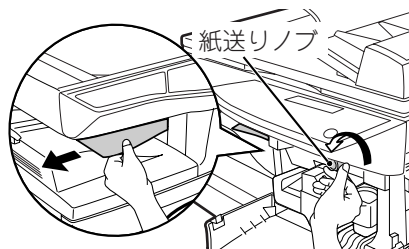
C 搬送部につまっている場合

1 定着部解放レバーを下げる

「B 定着部につまっている場合」（69ページ）を参照してください。

2 前カバーを開く

前カバーの開きかたについては、「現像カートリッジを交換する」（73ページ）を参照してください。

3 紙送りノブを矢印方向に回し、つまっている紙を出紙部から静かに取り出す

4 定着部解放レバーを上げてから前カバーを閉じ、側面カバー開閉ボタン右横の球形突起部を押して側面カバーを閉じる

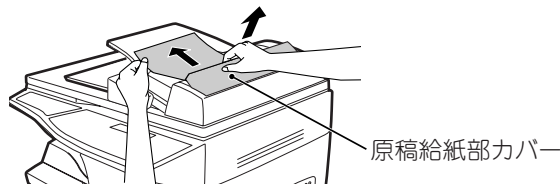
エラーランプが消灯し、スタートランプが点灯します。

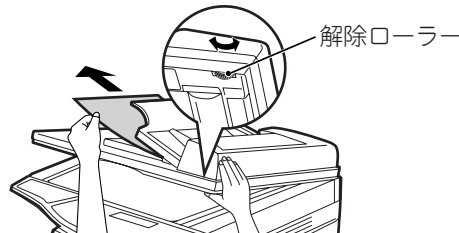
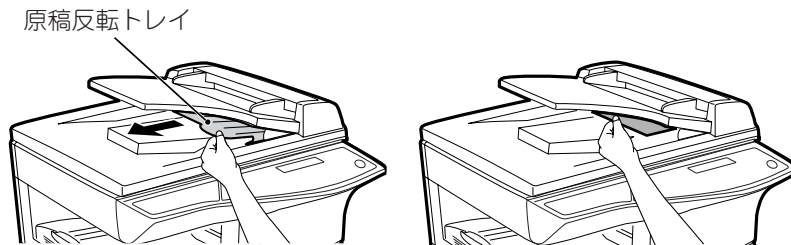
ご注意 カバーを閉じるときは、必ず前カバーを確実に閉じてから側面カバーを閉じてください。順番をまちがえるとカバーを破損するおそれがあります。

D 両面原稿自動送り装置での原稿づまり

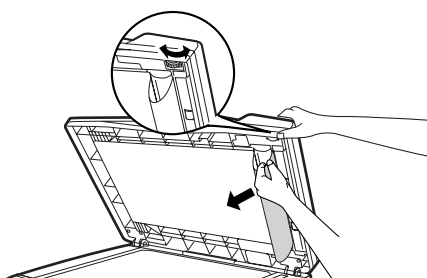
つまった原稿を取り除く方法には、(A) 原稿給紙部でつまっている場合、(B) 原稿出紙部でつまっている場合、(C) 解除ローラーの下でつまっている場合の3つの方法があります。つまっている場所を確認したあと、それぞれの指示に従ってつまった原稿を取り除いてください。

(A) 原稿給紙部でつまっている場合

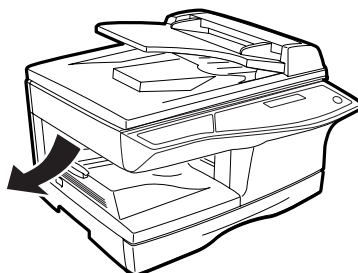
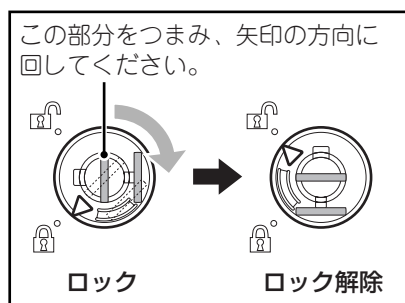
原稿給紙部カバーを開き、つまっている原稿を原稿セット台からゆっくりと引き出します。原稿を取り出したあと原稿給紙部カバーを閉じてください。両面原稿自動送り装置を開閉すると、エラーランプが消灯します。
原稿が取り出しにくいときは、(C) へ進んでください。

(B) 原稿出紙部でつまっている場合

両面原稿自動送り装置を開き、解除ローラーを回しながら、つまっている原稿を原稿出紙部からゆっくりと引き出します。
原稿が取り出しにくいときは、(C) へ進んでください。

両面原稿の場合は原稿反転トレイを取りはずしてつまった原稿を取り除いてください。

メモ　原稿出紙部からつまった原稿を取り除いたあとは、原稿反転トレイを原稿出紙部にしっかりと取り付けてください。

(C) 解除ローラーの下でつまっている場合

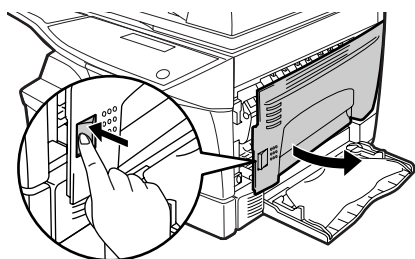
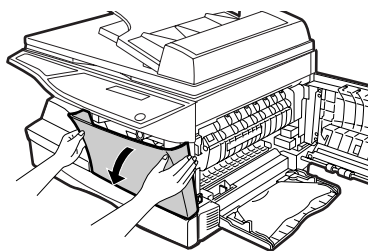
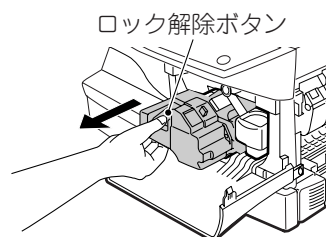
原稿が取り出しにくいときは、解除ローラーを回しながら解除ローラーの下から原稿を引っ張って取り出してください。

メモ　両面原稿自動送り装置を開閉すると、エラーランプが消灯します。“ゲンコウヲXマイモドシテカラ〔スタート〕ヲオシテクダサイ”と表示されたら、表示された枚数を原稿セット台にセットし直してください。〔スタート〕キー（◇）を押すとコピーが再開されます

スキャンヘッドロックスイッチについて

スキャンヘッドロックスイッチは、原稿台の下にあります。スイッチがロックされている場合（🔒）は、本機は動作しません。次の図を参照してスイッチを解除（🔓）してください。

現像カートリッジを交換する

エラーランプが点灯し、ディスプレイに“トナーガ ノコリワズカデス トナーヲ ジュンビシテクダサイ”と表示されると、トナーが残りわずかとなっています。お早めに交換用の現像カートリッジを準備してください。エラーランプが点灯している状態でコピーを続けると、トナー残量が少なくなっているのでコピーがだんだん薄くなってくることがあります。トナーがなくなると、本機は停止してエラーランプが点滅します。ディスプレイには“ゲンゾウカートリッジヲ コウカンシテクダサイ”と表示されます。次の手順で新しい現像カートリッジに交換してください。

- 本機が停止したあと、本機から現像カートリッジを取り出して水平方向に振って本機に戻すと、わずかにコピーすることができます。この操作を行ってもコピーできないときは、現像カートリッジを交換してください。
- 黒い部分の多い原稿を長時間連続コピーしたりする場合、トナーが残っていても“シバラク オマチクダサイ トナーホキュウヲシテイマス”のメッセージが表示され、コピーを中断することがあります。この場合、本機は約2分間トナーを補給します。スタートランプが点灯したら、[スタート]キー（ ）を押してコピーを再開します。

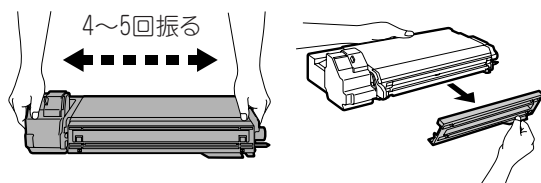
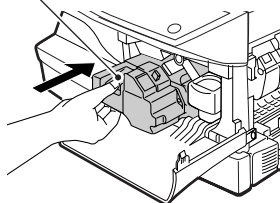
1 **手差しトレイを開き、側面カバー開閉ボタンを押しながら側面カバーを開く**

2 **両端を軽く押さえながら、前カバーを開く**

3 **ロック解除ボタンを押しながら現像カートリッジを静かに引き出す**

ご注意

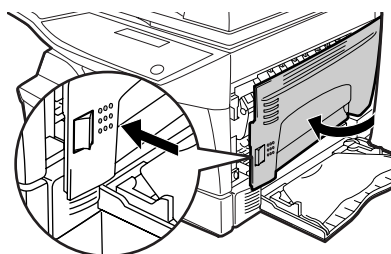
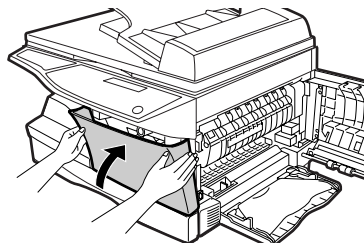
現像カートリッジを引き出したあと、カートリッジを振ったり、たたいたりしないでください。トナーがこぼれる原因となります。使用済みのカートリッジは、すぐに箱の中に入っている袋に入れてください。

使用済の現像カートリッジは捨てないで保管しておいてください。メンテナンスの際、担当員が回収します。

注 意

- **現像カートリッジを火中に投じないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因となることがあります。**
- **現像カートリッジは、小さなお子様の手の届かない場所に保管してください。**

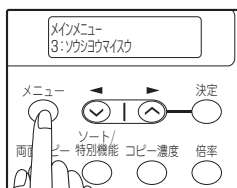
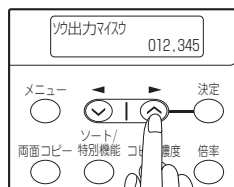
4 新しい現像カートリッジを袋から取り出して紙製の保護材を取りはずし、両端を持って水平方向に4～5回振ってから、保護カバーのつまみを持ち、手前に引いて取りはずす

5 ロック解除ボタンを押しながら新しい現像カートリッジをロックがかかるところまで静かに挿入する

6 前カバーを閉じ、側面カバー開閉ボタン右横の球形突起部を押して側面カバーを閉じる

エラーランプが消灯し、スタートランプが点灯します。

ご注意 カバーを閉じるときは、必ず前カバーを確実に閉じてから側面カバーを閉じてください。順番をまちがえるとカバーを破損するおそれがあります。

総使用枚数を確認する

本機で出力された総使用枚数を確認することができます。（コピー機能やプリント機能でプリントされた全ての枚数を確認できます。）また、それぞれの機能から出力された枚数（コピー枚数、スキャン枚数、ファクス枚数）も確認できます。カウントが“999,999”に達すると“0”に戻ります。

1 [メニュー]キーを押す

［◄］キー（⌄）または［►］キー（⌃）を押して“3:ソウシヨウマイスウ”を表示させ、［決定］キーを押します。

2 [◄]キー（⌄）または[►]キー（⌃）でそれぞれの機能で使用された枚数を表示させる

［◄］キー（⌄）または［►］キー（⌃）を押すごとに、カウント数は次のように切り替わります。

- ソウ出力マイスウ：本機の総出力枚数
- コピー：総コピー枚数
- ゲンコウオクリソウチ：両面原稿自動送り装置で読み込まれた総ページ数
- リョウメンインジ：両面プリントされた総ページ数
- プリント：プリンタ機能でプリントされた総ページ数
- ファクス：総送受信枚数
- ファクスソウシン：総送信枚数
- スキャンソウシン：総スキャン枚数
- ドラムライフザンリョウ：おおよそのプリント可能枚数を表示します。

8

メンテナンスの時期について

エラーランプが点滅し、ディスプレイに“メンテナンスノジキデス ハンバイテンニ レンラクシテクダサイ”または“ミニメンテナンスノジキデス ハンバイテンニ レンラクシテクダサイ”と表示されたら、メンテナンス（保守点検）の時期がきています。お買いあげの販売店にご連絡ください。

機器の清掃

原稿台（ガラス面）や両面原稿自動送り装置、転写チャージャーなどの清掃方法について説明しています。

⚠警 告　**清掃するときは可燃性スプレーなどを使用しないでください。スプレーのガスが内部の電気部品や定着部の高温部分に触れて火災や感電の原因となります。**

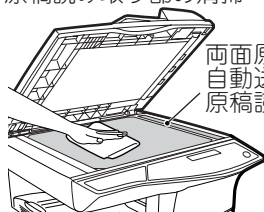
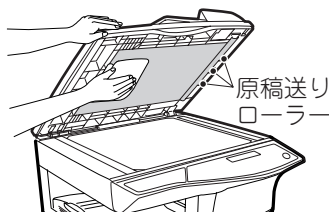
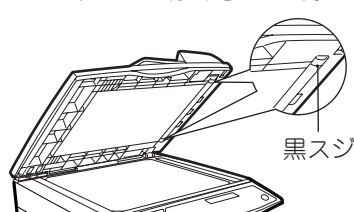
- 掃除を行う前に電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- アンモニア系のスプレーや有機洗剤、シンナー、ベンジンなどの揮発性のものは使用しないでください。本機の変形、変色、変質や故障の原因となります。

本機の外側（キャビネット）の清掃

汚れが落ちにくいときは、水または中性洗剤を少し含ませた布で拭いたあと、きれいな布でから拭きしてください。

原稿台（ガラス面）・両面原稿自動送り装置の裏面の清掃

原稿台のガラス面や両面原稿自動送り装置の裏面、また、両面原稿自動送り装置から送られてくる原稿を読み取る部分（原稿台の右端の細長いガラス面の部分）が汚れると、コピーに汚れが写ることがあります。常にきれいな状態でご使用ください。

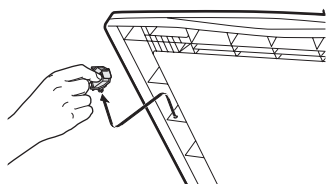
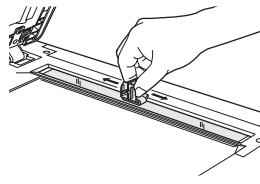
原稿台（ガラス面）および両面原稿自動送り装置の原稿読み取り部の清掃

両面原稿自動送り装置の清掃

この部分が汚れていると、両面原稿自動送り装置を使ってコピーすることはできません。

原稿読み取り部の清掃

両面原稿自動送り装置を使ってコピーした画像に白スジや黒スジなどの汚れが発生するときは付属のガラスクリーナーを使って原稿読み取り部を清掃してください。（両面原稿自動送り装置を使用しないときのコピー出力、プリンタ出力、ファクス出力で白スジや黒スジが出るときは、77ページの「転写チャージャーの清掃」を参照してください。）

プリント汚れの例

黒すじ

白すじ

1 **原稿自動送り装置を開き、ガラスクリーナーを取り出す**

2 **原稿読取り部をガラスクリーナーで清掃する**

3 **ガラスクリーナーを元の位置に収納する**

転写チャージャーの清掃

コピーに白スジや黒スジが出たり、濃淡のムラが出てきた場合は、次の手順で転写チャージャーを清掃してください。

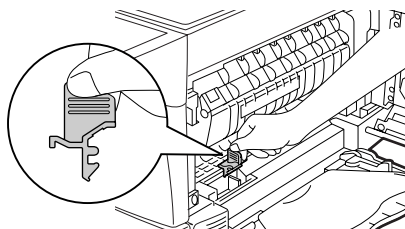
1 **電源スイッチを“切”側にする(15ページ)**

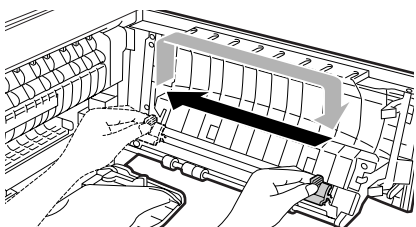
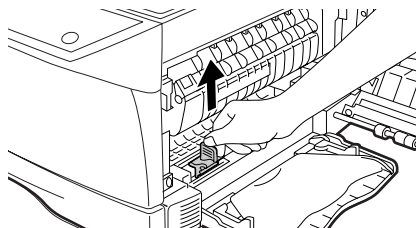
2 **手差しトレイを開き、側面カバー開閉ボタンを押しながら側面カバーを開く (68ページ)**

3 **チャージャークリーナーのつまみを持って取り出す**

チャージャークリーナーを転写チャージャーの右端にセットし、矢印方向に2 ～3 回動かして清掃します。

メモ
転写チャージャーの溝を端から端まで一方向に動かしてください。途中で止めたり往復させると、コピー汚れの原因や転写チャージャーを傷めるおそれがあります。

4 **チャージャークリーナーを元の場所に戻し、側面カバー開閉ボタン右横の球形突起部を押して側面カバーを閉じる**

5 **電源スイッチを“入”側にする(14ページ)**

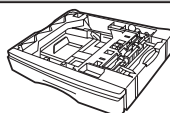
8

9 周辺装置・消耗品

ここでは別売品・消耗品について説明しています。別売品のご購入の際は、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口（82ページ）へお問い合わせください。

装着できる周辺装置について

必要に応じて本機に便利な周辺装置を装着できます。

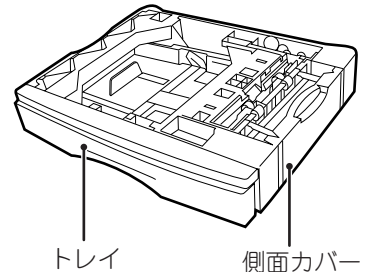
メモ　これらの製品は、改良のために予告なく変更することがあります。

ネットワーク拡張キット
（AR-NB2 N）

1段給紙ユニット
（AR-D16）

ネットワーク拡張キット（AR-NB2 N）

ネットワーク拡張キットを装着すると、本機をネットワークプリンタおよびネットワークスキャナとして使用できます。

1段給紙ユニット（AR-D16）

1段給紙ユニットを取り付けると、用紙の収納枚数が増え、入れ替えなしで使用できる用紙サイズの選択の幅が広がります。
1段給紙ユニットへの用紙補給の手順や用紙サイズの変更方法は、本機標準装備の用紙トレイと同じです。「トレイへの用紙補給」（17ページ）および「トレイを選択する」（24ページ）を参照してください。

プリンタ機能で1段給紙ユニットを使用するときは

プリンタ機能で1段給紙ユニットを使用するときは､以下の手順でプリンタドライバを設定してください。

1段給紙ユニットを使用するためのプリンタドライバの設定は、アプリケーションのプリント画面からはできません。

1 [スタート]ボタンをクリックする

2 [コントロール パネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[プリンタとFAX]をクリックする

Windows 98/Me/NT 4.0/2000をお使いの場合は、[設定]を選択し、[プリンタ]をクリックします。

3 [SHARP AR-155FG]プリンタドライバアイコンをクリックし、[ファイル]メニューから[プロパティ]を選択する

Windows 98/Meをお使いの場合は、[SHARP AR-155FG]プリンタドライバアイコンをクリックし、[ファイル]メニューから[プロパティ]を選択して[ドライバ設定]タブをクリックしてください。

4 [オプション]タブをクリックする

5 「用紙トレイ」で[2段]を選択し、[OK]ボタンをクリックする

プリンタドライバ設定画面が閉じます。
以上で1段給紙ユニットを使用するための設定は完了です。

インタフェースケーブルについて

お使いのコンピュータに合ったケーブルをご用意ください。

USBケーブル

USB 2.0に対応しているUSBケーブル（シールドタイプのもの）

パラレルケーブル

IEEE1284に準拠したシールドタイプの双方向パラレルケーブル

消耗品の種類と保管方法

この製品には、消耗品としてコピー用紙、コピーキットなどが必要です。
- コピー用紙／OHPフィルム、ラベル紙などは、当社推奨のものをお使いください。詳しくはお買いあげの販売店にお問い合わせください。
- 消耗品は必ず当社指定のものをご使用ください。

コピーキット

品名	形名
コピーキット	AR-CK27-B

コピーキットのコピー枚数はA4サイズで黒ベタ部分6%を基準として約5,000枚コピーできます。

消耗品の保管方法

1. 消耗品は次のような場所に保管してください。
   - 清潔で乾いたところ
   - 温度変化の少ないところ
   - 直射日光が当たらないところ
2. コピー用紙は袋に入れ、平らなところで保管してください。
   - 用紙を袋に入れなかったり、立てて保管したりすると、用紙が反ったり、湿ったりして紙づまりの原因となります。
3. 用紙の残りは、必ず用紙の袋に入れ、袋の口を閉じて保管してください。
   そのままにして放置すると、カールや吸湿が起こり、紙づまりなどの原因になります。
4. 新品の現像カートリッジの入った箱は、立てかけないで水平に保管してください。立てて保管すると使用する際、現像カートリッジをよく振ってもトナーの流動性が悪くなり、トナーが本機内部に移動できずカートリッジ内に残ることがあります。

⚠注 意　**現像カートリッジは小さなお子様の手の届かない場所に保管してください。**

シャープ標準用紙仕様基準

- 外観・形状
  コピー用紙にカール、シワ、紙折れ、裁断不良によるバリなどが認められないもの。
- 物性値

坪　量	$64.0^{+4.0}_{-2.0}$ g/m^2	平 滑 度	30±10秒
紙　厚	87±3mm/1,000	含 水 率	5.0±0.5%
剛度縦	20.4±0.8cm	不透明度	83±2%
剛度横	15.9±1.3cm	寸法精度	A、B列ともに±1.0mm

使用済み商品のリサイクル情報及び受け入れ場所について

お客様の使用済み商品の全国回収・処理システムを運用しています。全国に回収拠点を設け、そこから各地域の分解業者に集約し、再資源化を行っています。また、新規生産の複写機（リマニファクチャリング（※1））に組み込んだり、サービスパーツ（補修用部品）として利用するといったリユース（再使用）の取り組みを推進しており、限りある地球資源を有効に利用し、廃棄物の発生が少ない循環型社会の実現に向けての推進を図っています。
（※1）回収した複写機の状態検査を実施した上で部品ごとに分解し、洗浄・検査を経て再び生産ラインに投入、新規部品も加えて、新品と同等の性能・品質を持つ複写機を生産すること。

使用済みの現像カートリッジ・トナーボトルの回収と再生について
使用済みの現像カートリッジ・トナーボトルはお客様より回収した後シャープサプライリサイクルセンターで分解・清掃・磨耗部品を交換し、再組み立て後に新しいトナー、デベロッパーを充填し、再生しています。一部再利用できないカートリッジ・ボトルについては、素材別に再び原料に戻す、マテリアルリサイクルによる再資源化を行っております。

使用済みの感光体ドラム／感光体ドラムカートリッジについて
使用済み感光体ドラムは、サービスマンが全国の回収拠点毎に集約回収、感光体ドラムカートリッジはお客様より回収を行い、各地域の分解業者にて素材別に再び原材料に戻す、マテリアルリサイクルによる再資源化を図っております。

アフターサービスについて

修理を依頼されるときは

(1)「故障かな？と思ったら」(62ページ）をよくお読みください。
(2) それでも異常があるときは、使用をやめて電源プラグを抜き、お買いあげ販売店またはシャープドキュメントシステム（株）に次のことをご連絡のうえ、修理をお申しつけください。
お申し出により出張修理いたします。

品名：デジタル複合機
形名：AR-155FG
故障の状態（できるだけ詳しく）

⚠注意　ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。

アフターサービスについてわからないことは…

お買いあげ販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。次ページのとおり、全国にお客様ご相談窓口を設けております。

転居されるときは

この製品を移動するときは内部のトナーを取り出す必要がありますので、ご転居の際はお買いあげ販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口へご連絡ください。

補修用性能部品の最低保有期間

• 保証期間
当社は、この製品の補修用性能部品を製造打切後、7年保有しています。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

消耗品の最低保有期間

• 保証期間
当社は、この製品の消耗品を製造打切後、7年保有しています。

メンテナンスについて

メンテナンス（保守点検）の実施時期になると、これをお知らせするメッセージが表示されます。このメッセージが表示されたら、すみやかにお買いあげ販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にご連絡ください。

保守サービスシステムについて

この製品の性能や機能を維持するための保守サービスには、コピーキットサービスシステムあるいはスポットサービスシステムのいずれかを選択していただけるようになっております。
これらのサービスシステムの詳しい運用内容につきましては、お買いあげの販売店にご相談のうえ、お決めください。

お客様ご相談窓口のご案内

シャープ製品の修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店もしくは下記ご相談窓口へご連絡ください。

修理ご相談窓口

シャープドキュメントシステム株式会社

受付時間： 月曜～土曜 午前９時～午後５時40分
※（日曜、祝日など弊社休日は休ませていただきます。）

担当地域	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道	札幌技術センター	（011）641-0751	063-0801	札幌市西区二十四軒１条7-3-17
	釧路	（0154）24-8191	085-0051	釧路市光陽町8-13
	函館	（0138）52-5190	040-0001	函館市五稜郭町31-17
	帯広	（0155）21-2881	080-0011	帯広市西１条南26-19-1
	旭川技術センター	（0166）22-8284	070-0031	旭川市１条通４-左10
青森	青森技術センター	（017）738-7778	030-0121	青森市妙見3-3-4
	八戸	（0178）45-2631	031-0802	八戸市小中野2-8-16
岩手	岩手技術センター	（019）638-6085	020-0891	紫波郡矢巾町流通センター南3-1-1
秋田	秋田技術センター	（018）865-1258	010-0941	秋田市川尻町字大川反170-56
宮城	仙台技術センター	（022）288-9161	984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
	シャープ事務機山形販売(株)	（023）633-3215	990-8668	山形市流通センター1丁目9-2
福島	福島技術センター	（024）946-0196	963-0111	郡山市安積町荒井字方八丁33-1
	いわき	（0246）28-2487	970-8033	いわき市自由ケ丘37-10
新潟	新潟技術センター	（025）284-6023	950-0993	新潟市上所中1-7-21
	長岡	（0258）23-1850	940-1104	長岡市摂田屋町字崩2600
栃木	宇都宮技術センター	（028）634-0256	320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
群馬	前橋技術センター	（027）252-7311	371-0855	前橋市問屋町1-3-7
茨城	水戸技術センター	（029）243-0909	310-0851	水戸市千波町1963
埼玉	出張修理受付窓口	（03）5711-8100	（首都圏の集中修理受付窓口です）	
	埼玉技術センター	（048）666-7148	330-0038	さいたま市宮原町2-107-2
	埼玉西技術センター	（049）285-7294	350-2211	鶴ヶ島市脚折町3-14-20
	埼玉東技術センター	（048）979-6459	343-0804	越谷市大字南萩島346-1
千葉	出張修理受付窓口	（03）5711-8100	（首都圏の集中修理受付窓口です）	
	千葉技術センター	（043）299-8855	261-8520	千葉市美浜区中瀬1-9-2
	西千葉技術センター	（047）368-8346	270-2231	松戸市稔台295-1
東京	出張修理受付窓口	（03）5711-8100	（首都圏の集中修理受付窓口です）	
	ドキュメントサービス部			
	東京技術センター	（03）3829-6951	130-8610	東京都墨田区石原2-12-3
	中央技術センター	（03）3260-5253	162-8408	東京都新宿区市谷八幡町8
	北東京技術センター	（03）3973-7789	174-0074	東京都板橋区東新町1-33-11
	南東京技術センター	（03）3777-0850	143-0025	東京都大田区南馬込1-5-15
	西東京技術センター	（042）583-1993	191-0003	日野市日野台5-5-4
山梨	山梨	（055）228-3833	400-0049	甲府市富竹2-1-17
神奈川	出張修理受付窓口	（03）5711-8100	（首都圏の集中修理受付窓口です）	
	横浜技術センター	（045）753-9540	235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
	相模原技術センター	（045）753-9540	229-1122	相模原市横山2-2-12
	湘南技術センター	（045）753-9540	254-0013	平塚市田村4-14-36
長野	松本技術センター	（0263）27-1636	399-0002	松本市芳野8-14
	長野技術センター	（026）293-6360	388-8014	長野市篠ノ井塩崎東田沢6877-1
富山	富山技術センター	（076）451-3933	930-0997	富山市新庄北町5-63
石川	金沢技術センター	（076）249-9033	921-8801	石川郡野々市町字御経塚町4-103
福井	福井	（0776）53-6050	918-8206	福井市北四ツ居町625
	シャープ事務機福井販売(株)	（0776）27-1800	910-0067	福井市新田塚1-70-26

担当地域	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
岐阜	岐阜技術センター	(058)274-7996	500-8358	岐阜市六条南3-12-9
静岡	静岡技術センター	(0543)44-5621	424-0067	静岡市清水鳥坂1170-1
	沼津	(0559)24-1028	410-0062	沼津市宮前町11-4
	浜松技術センター	(053)465-0735	430-0803	浜松市植松町1476-2
愛知	ドキュメントサービス部	(052)332-2748	454-0011	名古屋市中川区山王3-5-5
	豊橋技術センター	(0532)54-1830	440-0086	豊橋市下地町橋口17-1
	岡崎	(0564)25-0611	444-0065	岡崎市柿田町1-21
三重	三重技術センター	(059)231-1573	514-0102	津市栗真町屋町字蒲池328
京都	京都技術センター	(075)681-9551	601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	北近畿	(0773)23-6996	620-0054	福知山市末広町6-13
滋賀	滋賀技術センター	(077)543-2331	520-2151	大津市栗林町11-35
大阪	ドキュメントサービス部	(06)6794-6901	547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	堺技術センター	(072)245-5855	590-0824	堺市老松町1-39
	北大阪技術センター	(072)634-4683	567-0831	茨木市鮎川5-15-3
兵庫	神戸技術センター	(078)795-6336	654-0161	神戸市須磨区弥栄台3-15-2
	阪神技術センター	(06)6421-2304	661-0981	尼崎市猪名寺3-2-10
	姫路技術センター	(0792)66-8295	671-2222	姫路市青山5-7-7
奈良	奈良技術センター	(0743)53-2023	639-1103	大和郡山市美濃庄町492
和歌山	和歌山技術センター	(073)445-6298	641-0031	和歌山市西小二里2-4-91
島根	松江技術センター	(0852)21-6110	690-0017	松江市西津田3-1-10
鳥取	鳥取	(0857)28-4222	680-0942	鳥取市湖山町東4-27-1
岡山	岡山技術センター	(086)292-5830	701-0301	都窪郡早島町大字矢尾828
広島	広島技術センター	(082)874-6100	731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
	東広島	(0824)28-3065	739-0142	東広島市八本松東4-3-30
	福山技術センター	(084)952-0736	720-0841	福山市津之郷町大字津之郷272-1
山口	山口技術センター	(083)972-4525	754-0024	吉敷郡小郡町若草町4-12
香川	高松技術センター	(087)823-4980	760-0065	高松市朝日町6-2-8
徳島	徳島	(088)625-8840	770-0813	徳島市中常三島町3-11-14
高知	高知	(088)883-7039	781-8104	高知市高須1-14-43
愛媛	松山技術センター	(089)973-0121	791-8036	松山市高岡町178-1
福岡	福岡技術センター	(092)572-2617	816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
	南福岡	(0942)45-4551	839-0812	久留米市山川安居野3-12-47
	北九州技術センター	(093)592-6510	803-0814	北九州市小倉北区大手町6-12
大分	大分技術センター	(097)552-2164	870-0913	大分市松原町3-5-3
長崎	長崎技術センター	(0957)53-3858	856-0817	大村市古賀島町613-3
熊本	熊本技術センター	(096)372-1251	862-0975	熊本市新屋敷3-15-17
鹿児島	鹿児島技術センター	(099)259-0628	890-0064	鹿児島市鴨池新町12-1
宮崎	宮崎	(0985)28-8371	880-0007	宮崎市原町4-12
沖縄	沖縄シャープ電機株式会社	(098)861-0866	900-0002	那覇市曙2-10-1

所在地・電話番号・受付時間などは変わることがありますので、その節はご容赦願います。(041001)

10

仕様

名称	AR-155FG
形式	卓上式
感光体種類	OPC
原稿台方式	固定式
複写方式	レーザー静電方式
複写原稿	シート物、ブック物
原稿サイズ	最大原稿サイズ：215.9mm x 355.6mm（8-1/2" x 14"）
複写サイズ	最大：A4、最小：A6 欠け幅： 先端4mm以内、後端4mm以内、両サイド最大4mm （両面コピー時の2枚目以降の後端は最大6mm）
連続複写速度 （等倍率での片面コピー）	15枚/分（A4用紙を1段目のトレイから給紙）
連続複写	1～99枚（減算式）
ファーストコピータイム※1	約9.6秒
複写倍率	原稿台（ガラス面） ズーム幅：0.25～4.00の範囲で0.01倍ごとに376段階の任意倍率 固定倍率： 1:1±1% / 1:1.410 / 1:2.000 / 1:4.000 / 1:0.860 / 1:0.700 / 1:0.500 / 1:0.250 両面原稿自動送り装置 ズーム幅：0.50～2.00の範囲で0.01倍ごとに151段階の任意倍率 固定倍率： 1:1±1% / 1:1.410 / 1:2.000 / 1:0.860 / 1:0.700 / 1:0.500
原稿読み取り方式	原稿台（ガラス面）：光源が移動 両面原稿自動送り装置：原稿が移動
給紙方式※2	自動給紙（250枚）、手差し給紙（50枚）
定着方式	ヒートローラー
現像方式	乾式現像
解像度	読み取り：600dpi x 300dpi、出力：600x600dpi（ジドウ/モジモード） 読み取り：600dpi x 600dpi、出力：600x600dpi（シャシンモード）
階調性	読み取り：256階調、書き込み：2階調
電源	AC100V、15A、50Hz/60Hz共用
最大消費電力	1.0kW
機械占有寸法 （手差しトレイ伸張時）	幅809mm x 奥行503mm
質量※3	約20.5kg
大きさ	幅518 mm x 奥行503mm x 高さ380 mm
使用環境	温度：10℃～30℃、湿度：20%～85%

騒音レベル	音響パワーレベルLwA(1B=10dB) 動作中：6.3[B] 待機中：4.0[B]
エミッション濃度 (RAL-UZ62 に準拠する測定: 2002年1月版)＊	オゾン：0.02 mg/m^3 以下 粉じん：0.075 mg/m^3 以下 スチレン：0.07 mg/m^3 以下 ＊日本環境協会複写機エコマーク基準濃度以下

※1 電源を投入し、予熱ランプが消灯直後に、原稿台（ガラス面）を使用してコピーをスタートした場合を測定（A4等倍、本体トレイから給紙、300dpi、自動濃度調整時）。
ファーストコピータイムは電源電圧、室温などの動作環境や本機の使用状態によって変動することがあります。
※2 用紙の質量によってセットできる用紙の枚数は異なります。「使用できる用紙」（16ページ）を参照してください。
※3 現像カートリッジは含みません。

プリンタ機能

プリント速度※	15ppm
解像度	600dpi
メモリー	約10MB
エミュレーション	SPLC（Sharp Printer Language with Compression）
インタフェース	双方向パラレルインタフェース（IEEE1284準拠） USB2.0（フルスピード/ハイスピードインタフェース）
インタフェースケーブル	[USBケーブル] USB 2.0対応のシールドツイストペアケーブル [パラレルインタフェースケーブル] シールドタイプの双方向パラレルインタフェース（IEEE1284準拠）ケーブル ＊市販のパラレルインタフェースケーブルを用意してください。

※A4普通紙をトレイ1から縦送りで給紙し、片面同一ページ連続プリントにおける出力2枚目以降のプリント速度（オフセット出力時を除く）

スキャナ機能

タイプ	フラットベットカラースキャナ
読み取り方式	原稿台（ガラス面）／両面原稿自動送り装置
解像度	基本600dpi x 1200dpi 設定範囲50dpi～9600dpi
原稿	シート物、ブック物
有効読取範囲	216 mm（縦）x 356mm（横）
読取速度	2.88 msec/line
インプットデータ	1bitまたは12bit
アウトプットデータ	R.G.B 1 または8bits / pixel A/D 16bit
読取色	白黒2値、グレースケール、フルカラー
プロトコル	TWAIN/WIA（Window XPのみ）/STI
インタフェース	USB2.0（フルスピード/ハイスピード）
ドロップアウトカラー	あり
サポートOS	Windows 98/Me Windows 2000 Professional/Windows XP Home Edition/Professional （詳しくは「インストールする前に」（35ページ）を参照してください。）
ボイドエリア	スキャナドライバから「あり」「なし」を設定可能
インタフェースケーブル	［USBケーブル］ USB2.0対応のシールドツイストペアケーブル
ユーティリティ	Button Manager / Sharpdesk

1段給紙ユニット（AR-D16）

給紙用紙サイズ	A4、B5、A5
給紙用紙質量	56g/m^2～80g/m^2
収納枚数	約250枚※（標準紙の場合）
質量	3kg
大きさ	幅498mm x 奥行395mm x 高さ88mm
電源	本体より供給

※用紙の種類によってセットできる枚数は異なります。

メモ　この製品は、付属品も含め、改良のため予告なく変更することがあります。

索引

記号・英数字

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

目的別索引

コピーする

こんなときは

コンピュータに接続する

準備

便利なコピー機能

お客様へ…お買いあげ年月日、お買いあげ店名を記入されますと、修理などの依頼のときに便利です。
修理・お取り扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店
もしくは、取扱説明書内に記載の“お客様ご相談窓口”へお問い合わせください。

お買いあげ年月日	年　　　月　　　日
お買いあげ店名	
	電話番号

● シャープホームページ	http://www.sharp.co.jp/

シャープ株式会社

本　　　　　　　社　〒545−8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
ドキュメントシステム事業本部　〒639−1186　奈良県大和郡山市美濃庄町492番地

PRINTED IN CHINA
2005B　KS2
TINSJ1416QSZZ

この取扱説明書は環境に配慮した植物性大豆油インクを使用しています。
この取扱説明書は再生紙を使用しております。